
- ダイキン「第6回 現代人の空気感調査」 -

総合報告書

冬のオフィスの空気に関する
調査結果

平成16年12月

ダイキン工業株式会社 広報部

<目次>

．調査企画	1
1．調査の目的	2
2．調査の実施要領	2
3．回答者の基本属性	3
．調査結果	4
1．オフィスの構造	5
2．オフィス内の人数	6
3．オフィスの個別空気調整の可否	7
4．オフィスの空気清浄機・加湿器・除湿機の設置状況	8
5．オフィスの空気の意識度	9
6．オフィスの空気を意識する場面	11
7．オフィスの空気です不快に感じていること	14
8．オフィスの各場面・各場所の空気に対する評価	16
9．オフィスの各場面・各場所の空気の採点	17
10．オフィスの各場面・各場所の空気です改善してほしいこと	18
11．オフィスの空気は仕事に影響を与えらると思うか	20
12．仕事の効率向上に効率的だと思ふ空気の改善策	21
13．所属部門の仕事の成果	23
14．会社の業績	24
15．今後1年間の会社の業績見込み	25
16．冬のオフィスの快適な室温・湿度	26
17．オフィスの空気は良くなっていると思ふか	28
18．オフィスの空気に関して不快に感じていること	29
19．自宅とオフィス、快適な空気はどちら	32
20．花粉症の有症	34
21．花粉症により被る支障	35
22．花粉症季の仕事の効率低下	36
23．オフィスの禁煙・分煙対策状況	37
24．仕事の効率という観点からのオフィスの禁煙・分煙対策に対する考へ	39

.調査企画

1. 調査目的

ダイキン工業は、“空気”にこだわり、また空調の技術を進化させてきた空調のトップメーカーとして、日頃あまり意識されてこなかった“空気”についてもっと多くの方々に関心を持っていただきたいと考え、2002年より“空気”に関する現代人の意識を調査する「現代人の空気感調査」を実施しています。

第6回目となる今回の調査では、“オフィスの空気”に関する実態を聞き、オフィスの空気が仕事の効率や成果に与える影響や、今後の理想的なオフィスのありかたを考えることを目的として、全国のビジネスマン、OL各400名の計800名を対象にアンケートを実施しました。

2. 調査の実施要領

(1) 調査対象及びサンプル数

オフィスで働く20～50代のビジネスマンとOL、800人

<属性別内訳>

	合計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳
合計	800	200	200	200	200
男性	400	100	100	100	100
女性	400	100	100	100	100

(2) 調査方法

Web調査

(3) 調査時期

平成16年11月13日～16年11月15日

(4) 調査項目

- ・オフィスの構造（個別の部屋、パーティションによる仕切り、オープンフロア）
- ・オフィス内の人数
- ・オフィスの個別空気調節の可否
- ・オフィスの空気清浄機・加湿器・除湿機の設置状況
- ・オフィスの空気環境の意識度
- ・オフィスの空気環境で気になること
- ・自分がいるオフィスの空気に対する評価と採点、空気環境で改善してほしい点
- ・オフィスの空気環境が仕事の効率に影響を与えると思うか
- ・仕事の効率向上のためにどのような空気の改善が効果的だと思うか
- ・所属するセクションの仕事の成果や会社の業績は向上しているか、今後向上すると思うか
- ・快適に感じる室温、湿度
- ・オフィスの空気環境は良くなっていると思うか
- ・自分がいるオフィスの空気に関して不快に思っていることや改善してほしい点
- ・花粉症がもたらす仕事への支障と効率の低下具合
- ・自分がいるオフィスの禁煙・分煙対策状況
- ・仕事の効率という観点からのオフィスの禁煙・分煙対策に対する考え
- ・回答者の基本属性（性別、年齢未婚・勤務先の所在地、職種、勤務形態、役職）

3. 回答者の基本属性

<未既婚別>

未婚	既婚
339 42.4%	461 57.6%

<勤務先の所在地別>

北海道	青森県	秋田県	岩手県	山形県	宮城県	福島県
39 4.9%	6 0.8%	3 0.4%	6 0.8%	2 0.3%	10 1.3%	5 0.6%
茨城県	栃木県	群馬県	千葉県	埼玉県	東京都	神奈川県
3 0.4%	5 0.6%	6 0.8%	30 3.8%	39 4.9%	246 30.8%	68 8.5%
新潟県	山梨県	長野県	富山県	石川県	福井県	静岡県
8 1.0%	2 0.3%	8 1.0%	2 0.3%	3 0.4%	2 0.3%	25 3.1%
岐阜県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県
7 0.9%	51 6.4%	3 0.4%	9 1.1%	16 2.0%	78 9.8%	34 4.3%
奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県
1 0.1%	5 0.6%	4 0.5%	2 0.3%	10 1.3%	9 1.1%	0 0.0%
徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県
2 0.3%	3 0.4%	6 0.8%	1 0.1%	23 2.9%	2 0.3%	5 0.6%
熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県		
3 0.4%	3 0.4%	2 0.3%	2 0.3%	1 0.1%		

<職種別>

事務系	営業系	研究開発系
489 61.1%	137 17.1%	174 21.8%

<勤務形態別>

主に内勤	主に外勤
710 88.8%	90 11.3%

<役職別>

一般職	管理職
656 82.0%	144 18.0%

一般職：係長・課長代理以下
管理職：課長以上

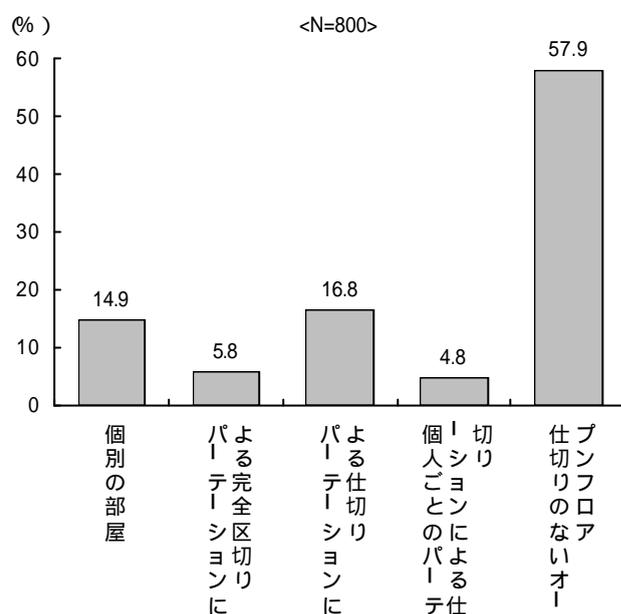
<喫煙別>

喫煙	非喫煙
253 31.6%	547 68.4%

.調査結果

1. オフィスの構造

図1. オフィスの構造



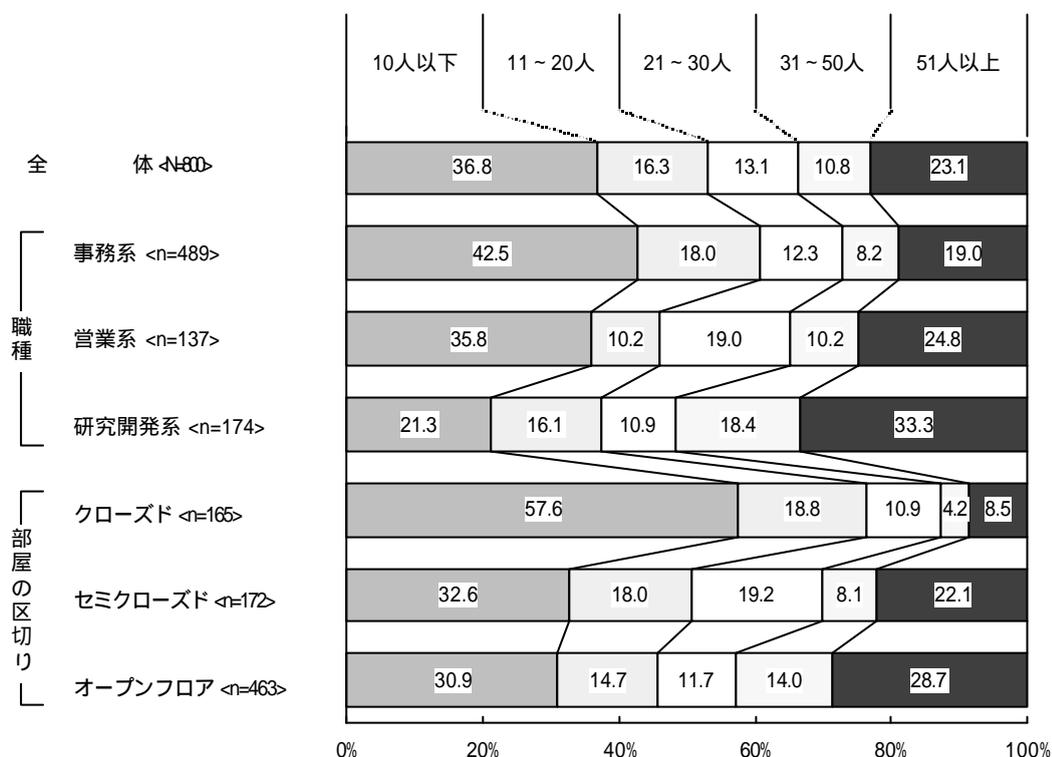
自分がいるオフィスは部屋ごとに仕切られているか、オープンフロアかを聞きました。

「仕切りのないオープンフロア」(57.9%) が最も多く半数以上を占めています。次いで「パーティションによる仕切り」(16.8%)、「個別の部屋」(14.9%) の順で続いています。「パーティションによる完全区切り」(5.8%) や「個人ごとのパーティションによる仕切り」(4.8%) はあまり多くありません。

職種別に見ると、<営業系>は「仕切りのないオープンフロア」(68.6%) が特に多くなっています。

2. オフィス内の人数

図2. オフィス内の人数



《オフィス》とは「自分が仕事をしている部屋」を指す。壁やパーティションで完全に区切られている場合は「部屋」そのもの、部課等の所属グループがパーティションで囲われていてもパーティションの上部が解放され完全には区切られていない場合は「解放されているところまでの範囲」、オープンフロアの場合は「フロア全体」として考える。=以下同じ。

<クローズド>とは前問の「1. 個別の部屋」「2. パーティションによる完全区切り」、<セミクローズド>とは「3. パーティションによる仕切り」「4. 個人ごとのパーティションによる仕切り」、<オープンフロア>とは「5. 仕切りのないオープンフロア」を指す。=以下同じ。

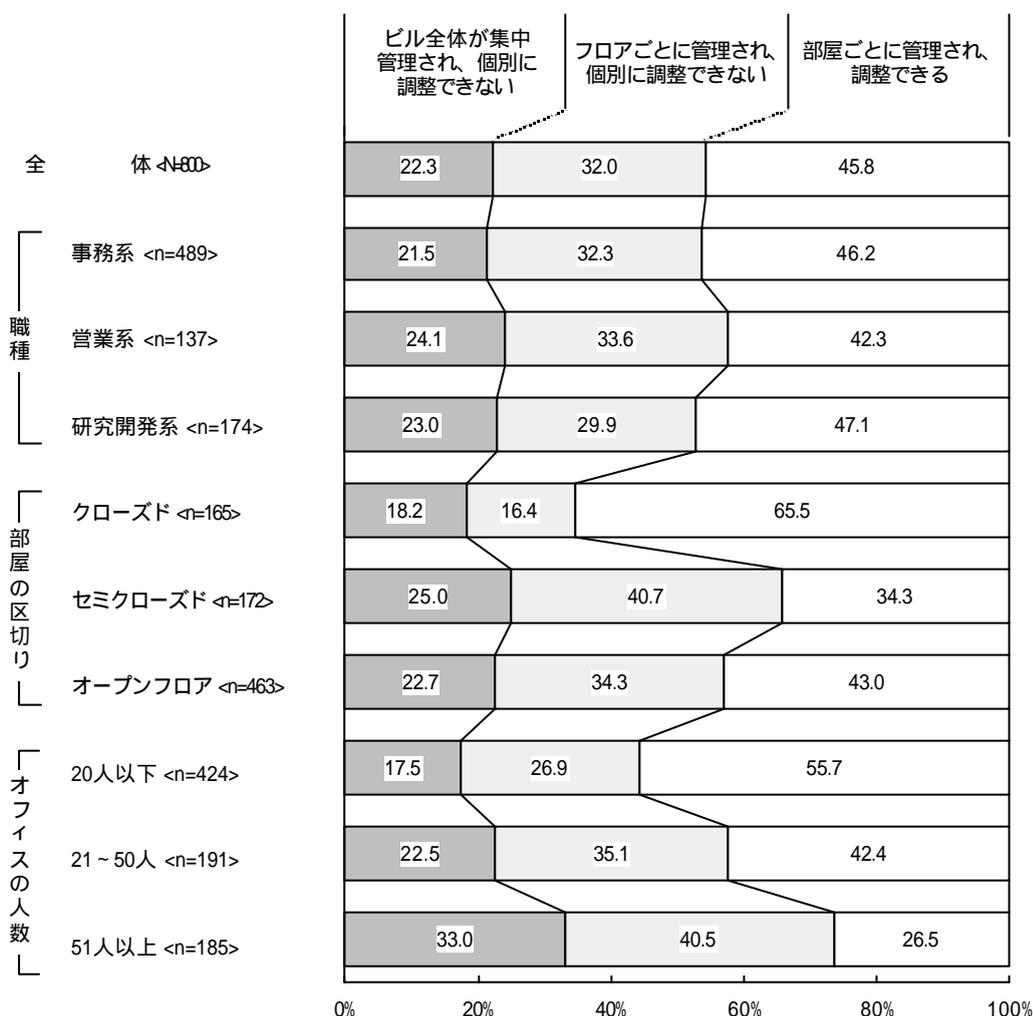
次に、自分がいるオフィスには何人くらいの人がいるかを聞いたところ、「10人以下」(36.8%)が最も多く、次いで「51人以上」(23.1%)の順となっています。以下、「11~20人」(16.3%)、「21~30人」(13.1%)、「31~50人」(10.8%)が続きます。

職種別に見ると、<事務系>は「10人以下」(42.5%)が特に多く、<営業系>(35.8%)も多くなっていますが、<研究開発系>は「51人以上」(33.3%)が多くなっています。

部屋の区切り別では、<クローズド>は「10人以下」(57.6%)が圧倒的に多くなっています。<セミクローズド>や<オープンフロア>も「10人以下」(32.6%、30.9%)が最も多いもののその割合はさほど高くなく、<オープンフロア>は「51人以上」(28.7%)とほとんど差がありません。

3. オフィスの個別空気調整の可否

図3. オフィスの個別空気調整の可否



自分がいるオフィスは空調が個別に調整できるかを聞きました。

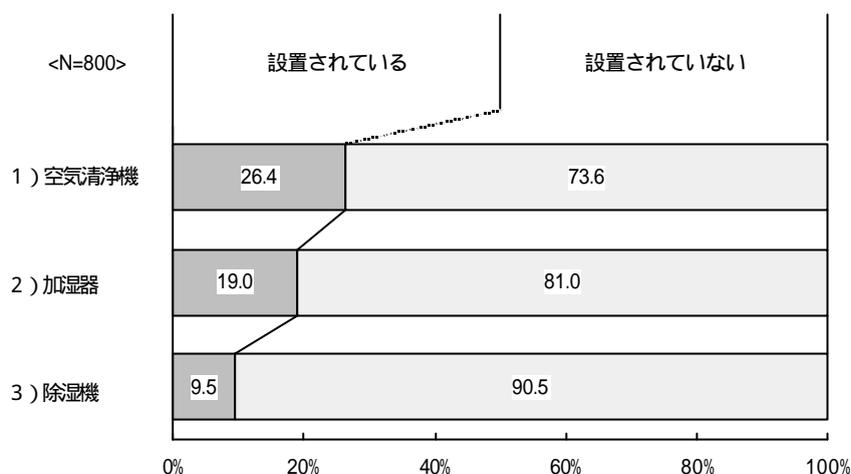
「部屋ごとに管理され、調整できる（以下「個別管理」と略す）」（45.8％）との回答が最も多く、次いで「フロアごとに管理され、個別に調整できない（以下「フロア別管理」と略す）」（32.0％）、「ビル全体が集中管理され、個別に調整できない（以下「ビル集中管理」と略す）」（22.3％）の順となっています。

部屋の区切り別に見ると、<クローズド>は「個別管理」（65.5％）が断然多いのに対して、<セミクローズド>や<オープンフロア>は「個別管理」（34.3％、43.0％）と「フロア別管理」（40.7％、34.3％）に分かれています。

オフィスの人数別に見ると、<20人以下>は「個別管理」（55.7％）が半数を超えており、<21~50人>も「個別管理」（42.4％）が4割を超え最も多くなっていますが、<51人以上>は「フロア別管理」（40.5％）が最も多く次いで「ビル集中管理」（33.0％）の順となっています。

4. オフィスの空気清浄機・加湿器・除湿機の設置状況

図4. オフィスの空気清浄機・加湿器・除湿機の設置状況



自分がいるオフィスに《空気清浄機》《加湿器》《除湿機》が設置されているかを聞きました。

《空気清浄機》は、「設置されている」(26.4%) 2割強にとどまっており、「設置されていない」(73.6%) が7割を超えています。

《加湿器》については、「設置されている」(19.0%) は2割弱で、「設置されていない」(81.0%) が断然多くなっています。

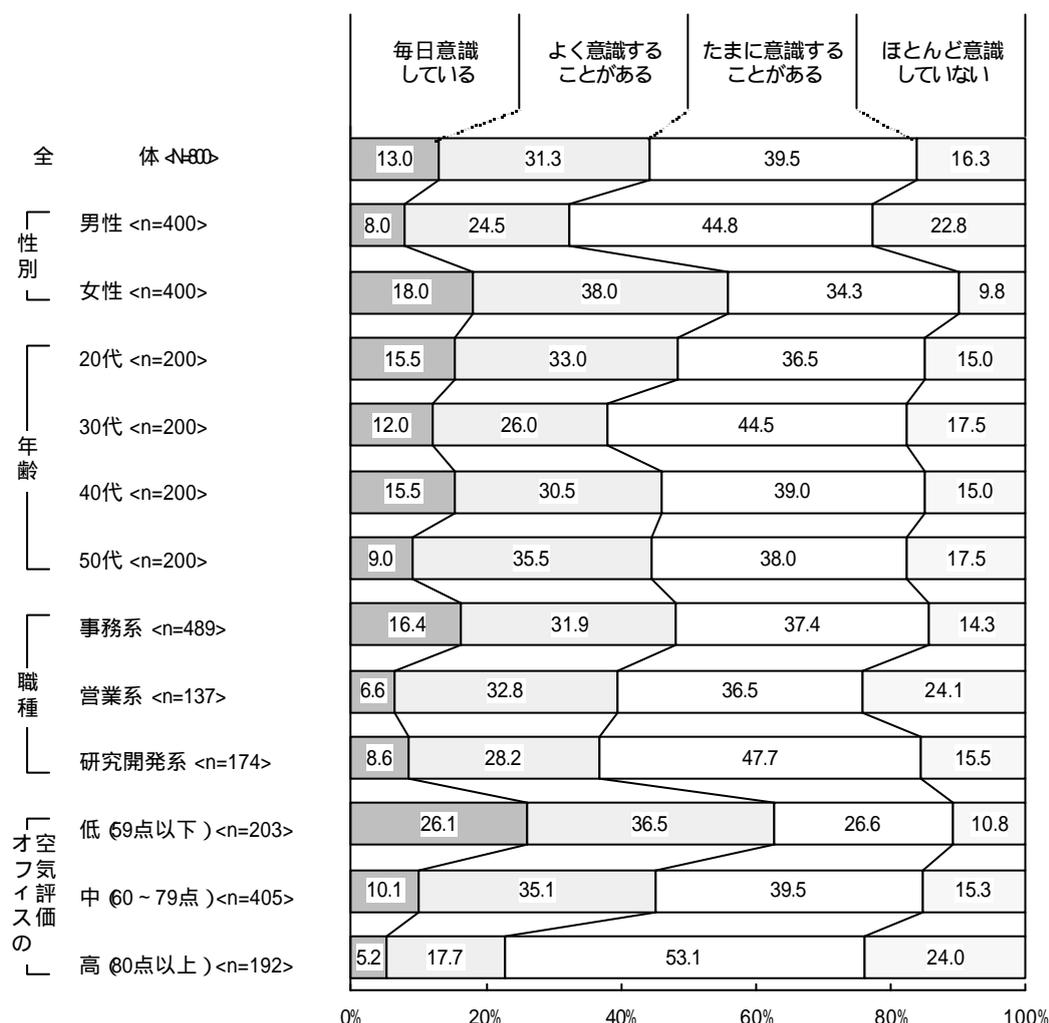
《除湿機》は、「設置されている」(9.5%) がさらに少なく、「設置されていない」(90.5%) が9割を占めています。

《空気清浄機》《加湿器》《除湿機》ともに、設置率はまだまだ低いようです。

3機種とも、設置されていない割合が特に高いのは、部屋の区切り別に見ると<オープンフロア>、オフィスの人数別に見ると“ 多人数の部屋 ”、オフィスの空調管理別に見ると<ビル集中管理>です。

5. オフィスの空気環境の意識度

図5. オフィスの空気環境(室温、湿度、汚れ等)の意識度



日頃オフィスの空気環境(温度、湿度、汚れ等)をどの程度意識しているかを聞きました。

「毎日意識している」(13.0%)は1割強にとどまっているものの、「よく意識することがある」(31.3%)は3割を超えており、「たまに意識することがある」(39.5%)もほぼ4割を占めています。「ほとんど意識していない」は16.3%にすぎません。半数近くが“日常的に意識している”(「毎日意識している」+「よく意識している」)(44.3%)としています。

性別では、“日常的に意識している”は<男性>(32.5%)では3割強ですが、<女性>(56.0%)では半数を超えています。

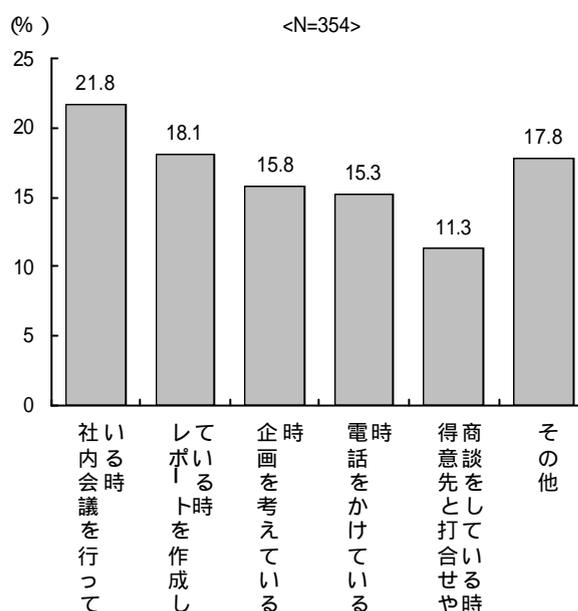
勤務形態別に見ると、<主に外勤>は“日常的に意識している”(34.4%)が3割強にとどまっていますが、<主に内勤>(45.5%)では半数近くを占めています。

また、後章で検証するオフィスの空気に対する評価点数別に見ると、<高く評価している人(80点以上)>では“日常的に意識している”は22.9%にすぎませんが、<中程度に評価している人(60~79点)>では45.2%、<低く評価している人(59点以下)>では62.6%と、低く評価している人ほど多くなっています。

さらに、後章で検証する空気環境と仕事の効率に影響を与えると思うか別に見ると、<影響はない>では“日常的に意識している”はわずか8.9%、<多少影響がある>も30.7%にとどまっていますが、<大いに影響がある>では65.1%と非常に多くなっています。

6. オフィスの空気環境を意識する場面

図6. オフィスの空気環境を意識する場面 (オフィスの空気環境を意識する人のみ)



性別	男性 <n=130>	26.2	21.5	22.3	7.7	11.5	10.8
	女性 <n=224>	19.2	16.1	12.1	19.6	11.2	21.9
年齢	20代 <n=97>	15.5	27.8	15.5	14.4	7.2	19.6
	30代 <n=76>	25.0	14.5	17.1	14.5	10.5	18.4
	40代 <n=92>	22.8	10.9	15.2	14.1	17.4	19.6
	50代 <n=89>	24.7	18.0	15.7	18.0	10.1	13.5
職種	事務系 <n=236>	21.2	15.7	13.6	17.4	9.7	22.5
	営業系 <n=54>	22.2	14.8	14.8	20.4	24.1	3.7
	研究開発系 <n=64>	23.4	29.7	25.0	3.1	6.3	12.5
オフィス空間の評価	低 (59点以下) <n=127>	17.3	15.0	18.9	16.5	9.4	22.8
	中 (60~79点) <n=183>	25.7	21.9	13.1	14.8	10.4	14.2
	高 (80点以上) <n=44>	18.2	11.4	18.2	13.6	20.5	18.2

前問で「日常的に意識している」と回答した人に、オフィスの空気環境を意識するのは特に仕事のどんな場面で多いかを聞きました。

「社内会議を行っている時」(21.8%)が最も多く、次いで「レポートを作成している時」(18.1%)の順となっています。以下、「企画を考えている時」(15.8%)「電話をかけている時」(15.3%)「得意先と打合せや商談をしている時」(11.3%)の順で続きます。

また、「その他」として「いつも感じている」(16件)「仕事中心いつも」(9件)などがあげられています。

性別では、「企画を考えている時」「社内会議を行っている時」は<女性>(12.1%、19.2%)より<男性>(22.3%、26.2%)、「電話をかけているとき」は<男性>(7.7%)より<女性>(19.6%)に多く見られます。

職種別に見ると、<研究開発系>は「レポートを作成している時」(29.7%)「企画を考えている時」(25.0%)、<営業系>は「得意先と打合せや商談をしている時」(24.1%)が多くなっています。

部屋の区切り別に見ると、<セミクローズド>や<オープンフロア>は「社内会議を行っている時」(25.0%、23.3%)が多くなっています。

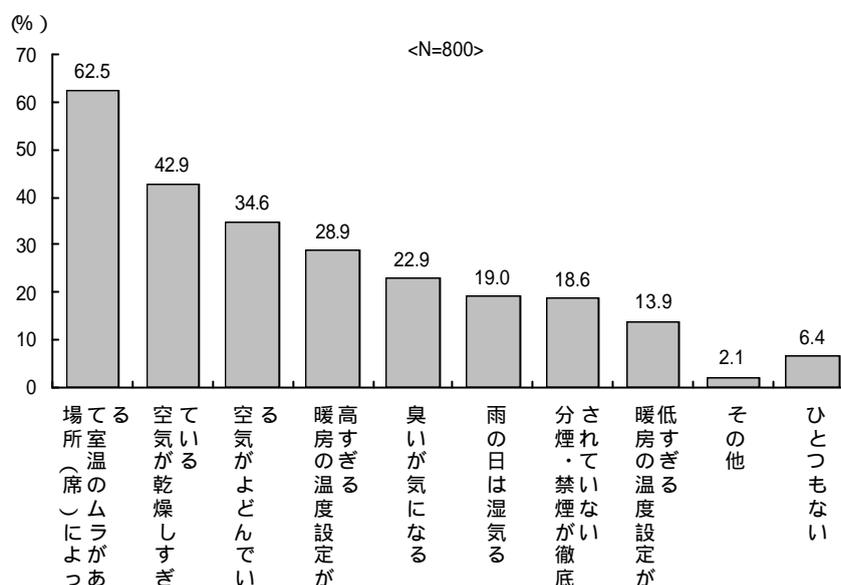
<その他の具体的内容>

- いつも感じている(16)
- ・常に(14)
- ・全般において
 - ・ 工作中いつも(9)
 - ・ 勤務中いつも(6)
 - ・ 工作中(特に夕方)
 - ・ オフィスにいるあいだ中
 - ・ 席にいるとき
 - ・ パソコンを使っているとき(6)
 - ・ PCで事務作業をしているとき
 - ・ パソコンで単純作業をしているとき
 - ・ パソコン業務
 - ・ デスクで入力しているとき
 - ・ モニターを見ている時
- ・ マシンルーム
 - ・ 出社した時(5)
- ・ 出勤したとき、一息つくとき
- ・ 出勤時
- ・ 朝会社に着いたとき
- ・ 会社に来た瞬間
- ・ 外から帰った時
 - ・ 気候の変化があったとき(5)
- ・ 気温により衣服の調整をするとき
- ・ 乾燥を感じる時
- ・ 室温が暑く感じられる時
- ・ 暑さ寒さ湿気で不快なとき
- ・ 天気次第...
 - ・ デスクワーク中(4)
- ・ デスクワークをしている時(2)
- ・ 事務処理をしている時
- ・ 経理の仕事をしている時
 - ・ タバコの臭いがした時(4)
- ・ タバコの臭いがしてきた時
- ・ タバコの煙が充満しているとき
- ・ タバコを吸っている人がいるとき
- ・ 誰かがタバコを吸い始めた時
 - ・ 開発業務中(3)
- ・ 開発業務中
- ・ 実験時
- ・ 薬を作る仕事なので薬の粉を作っているとき
 - ・ 風邪がはやっているとき(3)
- ・ 風邪がはやっているとき
- ・ 風邪をひいた人がいるとき
- ・ くしゃみが頻繁に出るとき
- ・ 特に決まっていない(3)

- ・特に決まっていない(2)
- ・特定の場面は無い
- 休憩時(2)
- ・仕事の合間にふと一息ついた時
- ・休憩中
- 変な臭いがするとき(2)
- ・部屋が臭いがするとき
- ・へんなにおいがするとき

7. オフィスの空気環境で不快に感じていること

図7. オフィスの空気環境で不快に感じていること【複数回答】



性別	男性 <n=400>	63.0	34.3	27.5	33.5	17.0	17.0	13.8	15.8	1.5	9.0
女性 <n=400>	62.0	51.5	41.8	24.3	28.8	21.0	23.5	12.0	2.8	3.8	
年齢	20代 <n=200>	61.5	43.5	41.5	34.5	24.0	20.5	18.0	19.0	1.0	5.0
30代 <n=200>	62.5	48.0	35.0	30.5	25.0	23.0	16.0	14.5	4.0	6.5	
40代 <n=200>	63.5	44.0	34.5	26.0	25.5	18.0	22.5	6.0	2.0	4.5	
50代 <n=200>	62.5	36.0	27.5	24.5	17.0	14.5	18.0	16.0	1.5	9.5	
職種	事務系 <n=489>	62.6	45.4	37.2	27.2	25.2	20.2	22.3	13.5	2.2	4.5
営業系 <n=137>	57.7	38.7	28.5	28.5	18.2	13.1	15.3	14.6	2.2	12.4	
研究開発系 <n=174>	66.1	39.1	32.2	33.9	20.1	20.1	10.9	14.4	1.7	6.9	
オフィス評価	低 (69点以下) <n=203>	69.0	54.2	56.2	33.5	42.4	30.0	31.0	16.3	3.0	2.0
中 (60~79点) <n=405>	62.0	43.0	37.3	28.4	20.0	17.8	16.3	11.4	2.5	3.7	
高 (80点以上) <n=192>	56.8	30.7	6.3	25.0	8.3	9.9	10.4	16.7	0.5	16.7	

オフィスの空気環境に関して不快に思うことがあるかを聞きました。「ひとつもない」はわずか6.4%にすぎず、9割以上が「不快を感じている」(93.6%)として何らかのものをあげています。

不快の内容としては「場所(席)によって室温のムラがある」(62.5%)が最も多く、6割以上があげています。次いで「空気が乾燥しすぎている」(42.9%)があげられ、以下「空気がよどんでいる」(34.6%)、「暖房の設定温度が高すぎる」(28.9%)、さらに「臭いが気になる」(22.9%)、「雨の日は湿気る」(19.0%)の順で続きます。

性別に見ると、<女性>は「空気が乾燥しすぎている」(51.5%)、「空気がよどんでいる」(41.8%)、「臭いが気になる」(28.8%)など多くの項目で<男性>(34.3%、27.5%、17.0%)を上回っています。一方、「暖房の設定温度が高すぎる」は<女性>(24.3%)より<男性>(33.5%)の方が多くなっています。

年齢別では、「空気がよどんでいる」は<20代>では41.5%ですが<50代>では27.5%と、年齢が低い人に多くなっています。「暖房の設定温度が高すぎる」も同様の結果で、<20代>は34.5%ですが<50代>は24.5%です。

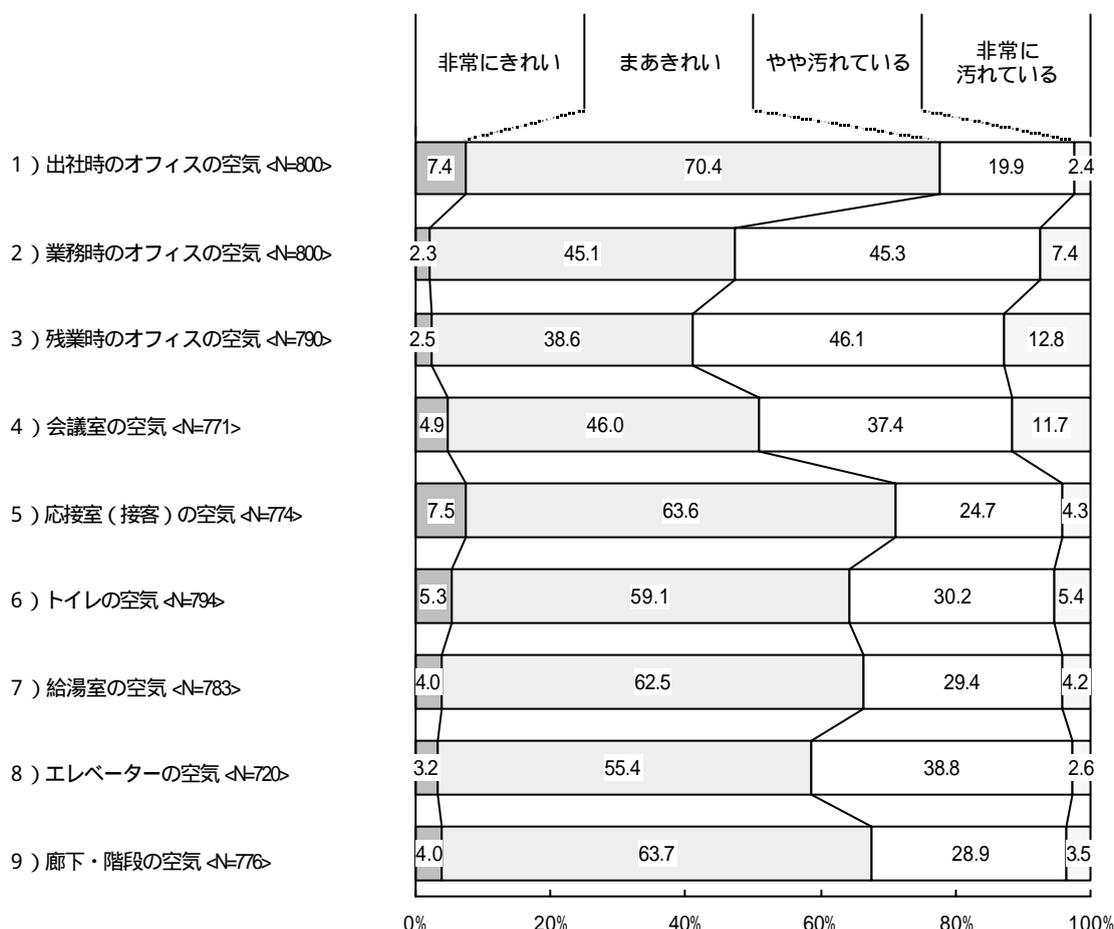
勤務形態別に見ると、すべての項目で<主に内勤>が<主に外勤>を上回っています。なかでも「空気が乾燥しすぎている」、「場所（席）によって室温のムラがある」、「空気がよどんでいる」は特に大きな差があります。オフィスの空気環境に対する不快感は内勤の方がより強く感じているようです。

<その他の具体的内容>

- 埃っばい(3)
- ・埃(2)
- ・ほこりっばい
- 温度設定バトル(2)
- ・寒がりと暑がり同居しているので設定温度でバトルが起こる。
- ・人によって体感温度が違うため、空調温度が合わない
- その他
- ・喫煙スペース以外で喫煙する上司がいる
- ・分煙されているが臭いが流れて来る
- ・空調の風がまともに当たる
- ・交差点のそばなので排気ガスが入ってくる。
- ・冷え性・寒がりなので夏でも寒い
- ・暑くて寒い
- ・快適な温度に調整できない
- ・空気の流れが悪く室温が常に高い
- ・冷房もききすぎている
- ・夏の湿度の高いこと
- ・暖房をつけても足元が寒い
- ・暑い

8. オフィスの各場面・各場所の空気に対する評価

図8. オフィスの各場面・各場所の空気に対する評価



自分がいるオフィスの空気を、どのように評価しているかを聞きました。

‘非常に汚れている’と‘やや汚れている’の合計でみると、最も“汚れている”のは「残業時のオフィスの空気」(58.9%)で半数を超えています。次いで“汚れている”のは「業務時のオフィスの空気」(52.6%)で、以下「会議室の空気」(49.0%)、「エレベーターの空気」(41.4%)、「トイレの空気」(35.6%)、「給湯室の空気」(33.6%)、「廊下・階段の空気」(32.3%)が続いています。

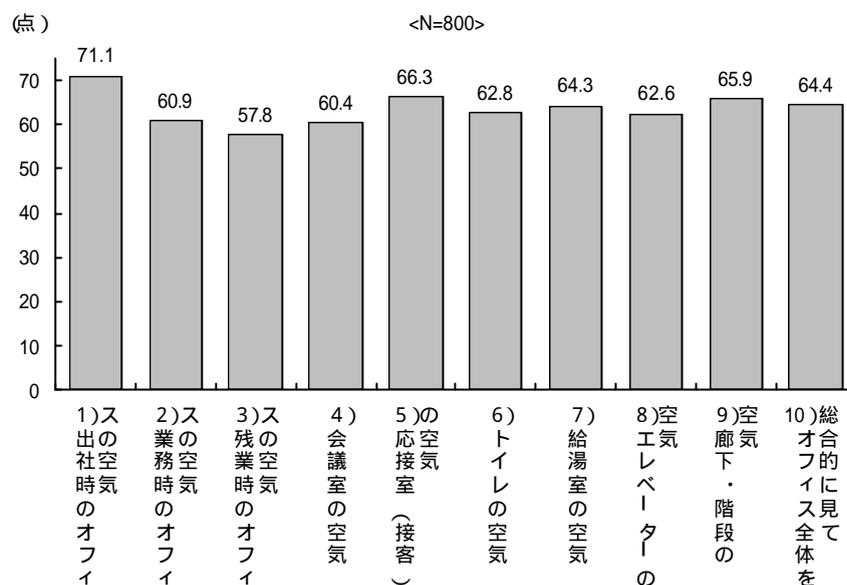
一方、「出社時のオフィスの空気」「応接室の空気」は“きれい(‘非常にきれい’+‘まあきれい’)”(77.8%、71.1%)が7割を超えており高い評価を得ています。

性別に見ると、“汚れている”は総じて<男性>より<女性>に高率を示している項目が多く、なかでも「業務時のオフィスの空気」(女性 63.0%、男性 42.3% = 以下同じ)、「残業時のオフィスの空気」(68.0%、49.7%)、「会議室の空気」(56.0%、42.4%)、「応接室の空気」(35.4%、22.6%)は特にその差が大きくなっています。

年齢別では、“汚れている”は大半の項目が年齢の高い人より若い人に多くなっています。

9. オフィスの各場面・各場所の空気の採点

図9. オフィスの各場面・各場所の空気を100点満点で採点した時の得点



性別	男性 <n=400>	72.0	63.9	61.1	63.7	69.3	62.3	65.3	64.3	66.5	66.0
	女性 <n=400>	70.2	57.9	54.4	57.0	63.1	63.3	63.4	60.7	65.3	62.9
年齢	20代 <n=200>	67.4	55.9	51.6	57.4	64.8	57.3	61.4	59.0	62.8	59.9
	30代 <n=200>	69.0	58.9	54.8	58.4	63.2	60.4	62.0	60.5	63.5	61.8
	40代 <n=200>	70.3	60.5	58.2	59.3	64.9	64.0	64.0	61.7	65.3	64.5
	50代 <n=200>	77.5	68.3	66.6	66.7	72.1	69.7	70.1	69.3	72.1	71.6
職種	事務系 <n=489>	70.9	59.7	57.1	59.4	64.6	63.1	64.5	62.7	66.3	64.0
	営業系 <n=137>	74.0	64.9	60.9	64.3	71.0	64.4	65.8	63.4	67.3	67.4
	研究開発系 <n=174>	69.2	61.0	57.1	60.1	67.2	60.9	62.8	61.6	63.8	63.3
オフィス評価	低 (69点以下) <n=203>	53.0	36.3	33.8	37.9	43.8	42.2	43.3	43.3	45.8	40.3
	中 (60~79点) <n=405>	73.4	63.5	59.8	62.5	69.7	65.2	67.1	63.9	68.5	66.9
	高 (80点以上) <n=192>	85.4	81.4	78.9	80.5	83.5	79.8	81.2	80.2	82.0	84.8

自分がいるオフィスの空気を100点満点で採点すると何点くらいだと思えるかを聞きました。

平均点で見ると、最も点数が低いのは「残業時のオフィスの空気」(57.8点)で、次いで「会議室の空気」(60.4点)、「業務時のオフィスの空気」(60.9点)、以下「エレベーターの空気」(62.6点)、「トイレの空気」(62.8点)の順となっています。さらに、「給湯室の空気」(64.3点)、「廊下・階段の空気」(65.9点)、「応接室の空気」(66.3点)の順で続き、「出勤時のオフィスの空気」(71.1点)が最も高くなっています。

なお、総合評価である「オフィス全体を総合的に見て」は64.4点という結果です。

性別に見ると、全般的に平均点は<男性>より<女性>の方が低くなっています。「残業時のオフィスの空気」では<男性>の61.1点に対して<女性>は54.4点となっています。

年齢別では、大半の項目は若い人ほど平均点が低くなる傾向が見られます。

職種別に見ると、いずれの項目も<事務系><研究開発系>の平均点が低く、<営業系>を下回っています。

10. オフィスの各場面・各場所の空気で改善してほしいこと

表1. オフィスの各場面・各場所の空気で改善してほしいこと【複数回答】

	サンプル数	温度管理	湿度管理	チリやホコリの除去	空気の循環・換気	タバコの煙や臭いの除去	あなてはまるものは
1) 出社時のオフィス	800	37.5	18.1	19.8	37.8	14.3	25.1
2) 業務時のオフィス	800	49.1	31.3	30.4	52.4	26.0	13.4
3) 残業時のオフィス	790	43.7	26.1	27.3	52.3	25.8	14.7
4) 会議室	771	28.3	13.5	16.6	42.4	32.6	23.2
5) 応接室	774	24.3	12.9	16.4	38.9	25.2	31.3
6) トイレ	794	15.1	9.2	11.8	51.3	16.5	31.0
7) 給湯室の空気	783	13.2	13.4	13.7	43.4	11.2	36.3
8) エレベーターの空気	720	12.4	7.2	16.8	46.7	13.5	36.8
9) 廊下・階段の空気	776	15.2	7.5	24.9	34.8	11.9	39.0

オフィスの空気環境に関して、場面ごとにどのようなことを改善してほしいのかを聞きました。

<出社時のオフィスの空気>では、「空気の循環・換気」(37.8%)と「温度管理」(37.5%)が多くなっています。

年齢別に見ると、若い人ほど「空気の循環・換気」を多くあげています。

職種別に見ると、<事務系><研究開発系>は「空気の循環・換気」(39.1%、40.2%)を多くあげており、<営業系>(29.9%)を上回っています。

<業務時のオフィスの空気>では、「空気の循環・換気」(52.4%)が最も多く、次いで「温度管理」(49.1%)、以下「湿度管理」(31.3%)、「チリやホコリの除去」(30.4%)の順で続いています。

性別では、いずれの項目も<男性>より<女性>の方が多くなっていますが、なかでも「空気の循環・換気」(男性47.0%、女性57.8%)、「タバコの煙や臭いの除去」(男性17.3%、女性34.8%)は特に差があります。

年齢別に見ると、すべての項目で<50代><40代>より<20代><30代>の方が多くなっています。

オフィスの人数では、<21～50人>は「空気の循環・換気」(62.8%)、「温度管理」(59.2%)、「湿度管理」(40.3%)、「チリやホコリの除去」(37.2%)が<20人以下><51人以上>を上回っています。

<残業時のオフィスの空気>も、「空気の循環・換気」(52.3%)が最も多く、次いで「温度管理」(43.7%)となっています。

性別に見ると、すべての項目で<男性>より<女性>の方が多くなっています。

年齢別では、いずれの項目も<50代><40代>より<20代><30代>の方が多くなっています。

部屋の区切り別に見ると、<セミクローズド>は「空気の循環・換気」(58.2%)、「温度管理」(48.2%)など多くの項目で<クローズド>や<オープンフロア>を上回っています。空気の浄化ということでは最もよくない造りなのでしょうか。

<会議室の空気>は、「空気の循環・換気」(42.4%)に次いで「タバコの煙や臭いの除去」(32.6%)があげられています。

性別に見ると、<女性>は「タバコの煙や臭いの除去」(41.1%)が<男性>(24.5%)を上回っています。

<応接室の空気>は、「空気の循環・換気」(38.9%)が最も多く、次いで「タバコの煙や臭いの除去」(25.2%)の順となっています。

性別に見ると、<女性>は「タバコの煙や臭いの除去」(31.8%)が<男性>(18.8%)を大きく上回っています。

<トイレの空気>は、「空気の循環・換気」(51.3%)が断然多いですが、そのほかはさほど多くはありません。

<給湯室の空気>も、「空気の循環・換気」(43.4%)が断然多くなっています、そのほかはさほどでもありません。

<エレベーターの空気>も、「空気の循環・換気」(46.7%)が断然多いですが、そのほかはさほど多くありません。

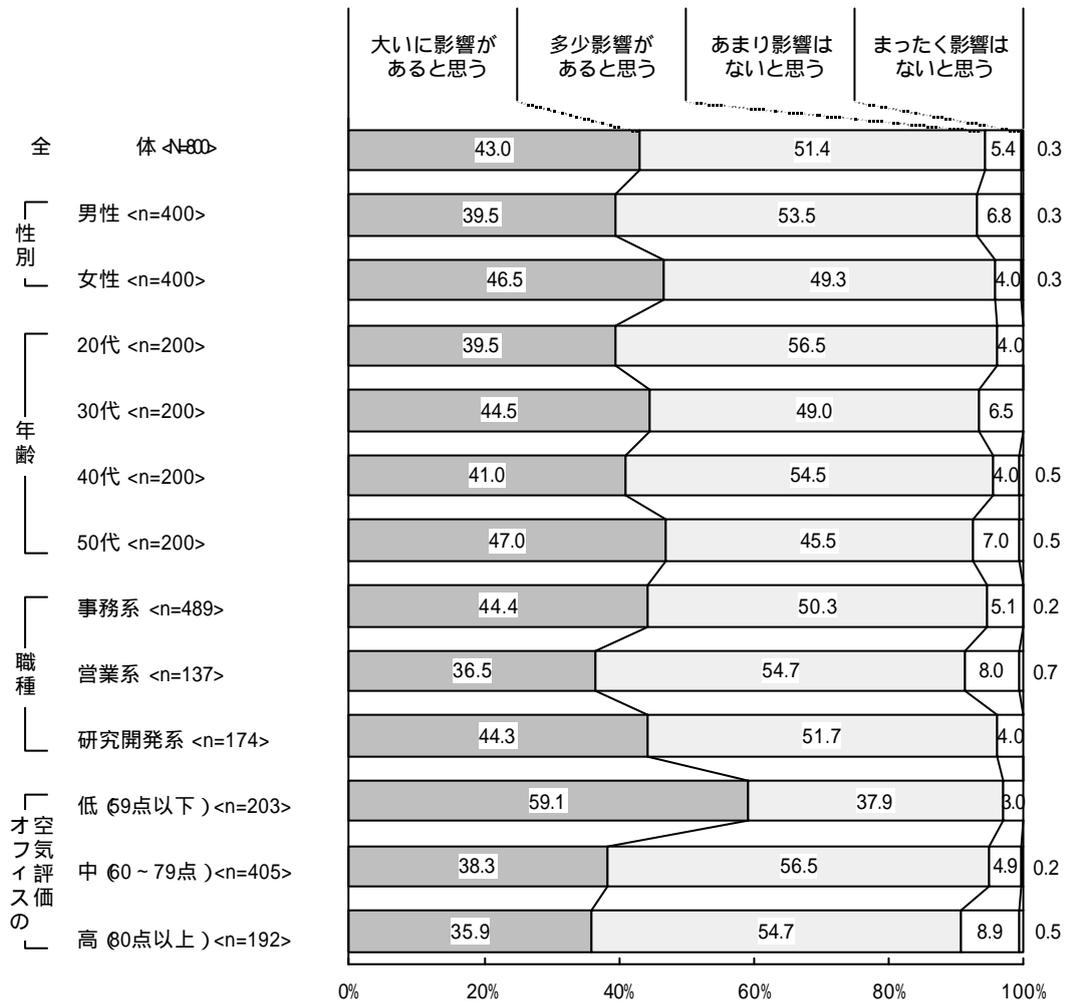
<廊下・階段の空気>は、「空気の循環・換気」(34.8%)が最も多く、次いで「チリやホコリの除去」(24.9%)の順となっていますが、総じてさほど多くはありません。

年齢別に見ると、<20代>は「空気の循環・換気」(42.1%)が多くなっています。

部屋の区切り別に見ると、<セミクローズド>は「空気の循環・換気」(42.0%)が他を上回っています。

11. オフィスの空気環境は仕事に影響を与えると思うか

図10. オフィスの空気環境は仕事に影響を与えると思うか



オフィスの空気環境は、仕事の効率や成果に影響を与えると思うかを聞きました。「多少影響があると思う」(51.4%)が最も多く、次いで「大いに影響があると思う」(43.0%)の順となっています。両者をあわせると9割を超え、大多数の人が“影響がある”(94.4%)と考えていると言えます。

性別に見ると、「大いに影響があると思う」は<男性>(39.5%)より<女性>(46.5%)の方が多くなっています。

年齢別では、<50代>は「大いに影響があると思う」(47.0%)がとりわけ多くなっています。

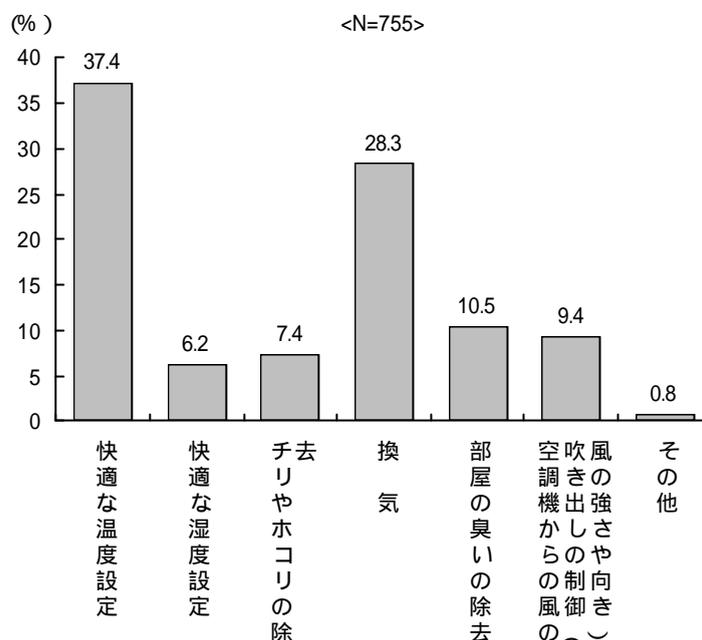
部屋の区切り別に見ると、<セミクローズド>では「大いに影響があると思う」(51.2%)が半数以上を占めています。

オフィスの空気評価別に見ると、<低く評価している人>は「大いに影響があると思う」(59.1%)が6割と、<中程度に評価している人>(38.3%)や<高く評価している人>(35.9%)を大きく上回っています。

オフィスの空気環境評価別に見ると、<悪くなっていると考えている人>では「大いに影響があると思う」(76.1%)が7割を超えています。

12.仕事の効率向上に効率的だと思う空気環境の改善策

図11. 仕事の効率向上に効率的だと思う空気環境の改善策 (オフィスの空気環境が仕事に影響を与えと思う人のみ)



性別	男性 <n=372>	41.4	7.3	8.3	26.9	7.0	8.6	0.5
	女性 <n=383>	33.4	5.2	6.5	29.8	13.8	10.2	1.0
年齢	20代 <n=192>	41.7	4.2	7.8	32.3	8.9	4.7	0.5
	30代 <n=187>	38.0	8.6	8.6	24.1	11.2	8.0	1.6
	40代 <n=191>	34.6	6.8	8.4	29.3	11.5	8.9	0.5
	50代 <n=185>	35.1	5.4	4.9	27.6	10.3	16.2	0.5
職種	事務系 <n=463>	32.6	5.6	6.9	31.5	13.0	9.7	0.6
	営業系 <n=125>	41.6	5.6	7.2	24.8	7.2	13.6	-
	研究開発系 <n=167>	47.3	8.4	9.0	22.2	6.0	5.4	1.8
オフィス空気の評価	低 (59点以下) <n=197>	28.4	4.6	7.6	36.0	14.7	7.6	1.0
	中 (60~79点) <n=384>	37.0	7.8	7.0	28.9	9.1	9.4	0.8
	高 (80点以上) <n=174>	48.3	4.6	8.0	18.4	8.6	11.5	0.6

前問で“オフィスの空気環境は仕事に影響があると思う”と答えた人に、仕事の効率を上げるためには空気環境の改善のうちで何が最も効果的だと思うかを聞いたところ、「快適な温度設定」(37.4%)が最も多く、次いで「換気」(28.3%)の順となりました。以下、「部屋の臭いの除去」(10.5%)などが続いています。

性別に見ると、<男性>は「快適な温度設定」(41.4%)が<女性>(33.4%)を上回っているのに対して、<女性>は「部屋の臭いの除去」(13.8%)を<男性>(7.0%)より多くあげています。

年齢別に見ると、<20代>は「快適な温度設定」(41.7%)、「換気」(32.3%)が他の年代を上回っています。

部屋の区切り別に見ると、<セミクローズド>は「換気」(37.4%)を最も多くあげています。

職種別に見ると、<研究開発系>は「快適な温度設定」(47.3%)がとりわけ多くなっているのに対して、<事務系>は「快適な温度設定」(32.6%)と「換気」(31.5%)がほとんど同率となっ

ています。

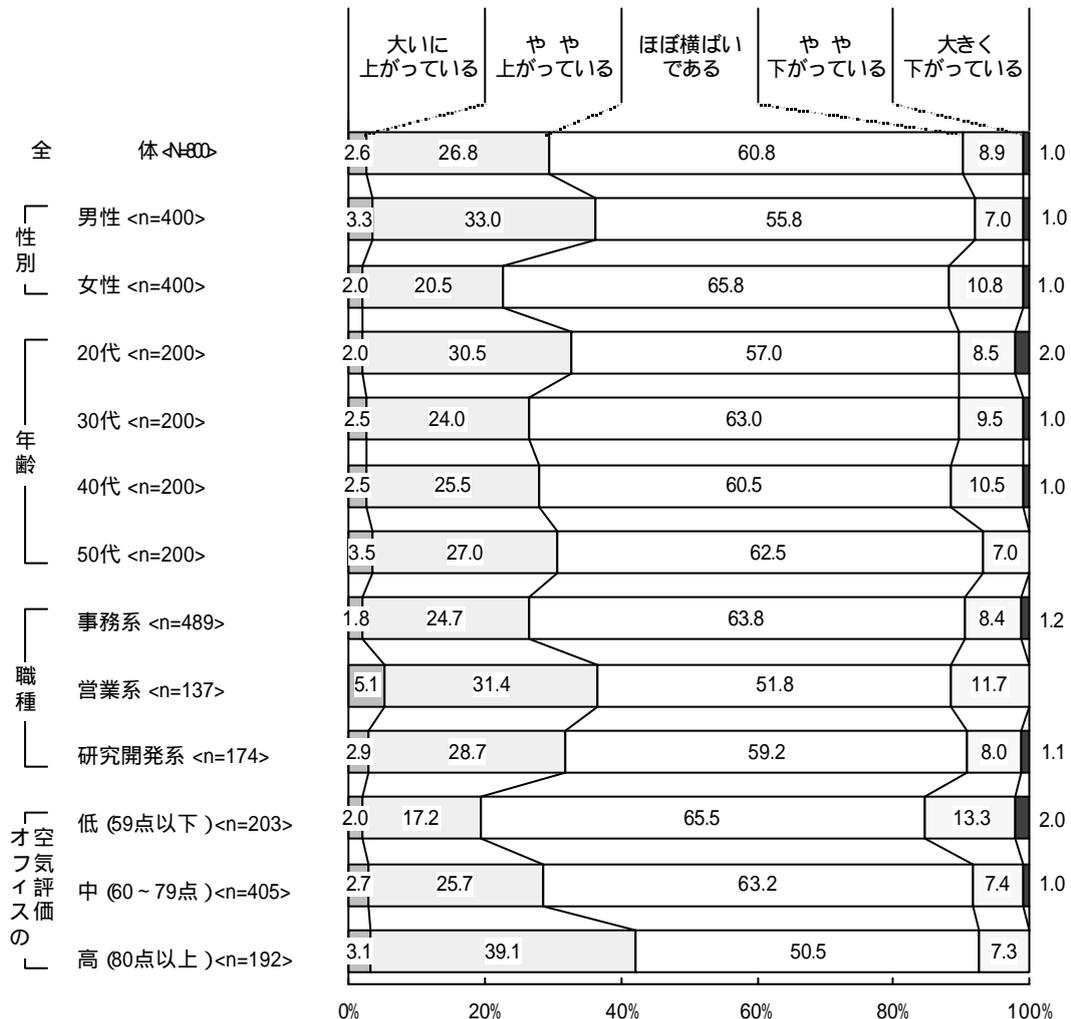
オフィスの空気評価別に見ると、<高く評価している人>は「快適な温度設定」(48.3%)を最も多くあげていますが、<低く評価している人>は「換気」(36.0%)を多くあげています。

<その他の具体的内容>

- ・ 快適な温度で、清浄な空気
- ・ 空気清浄
- ・ 禁煙
- ・ 酸素濃度
- ・ 総合的に必要だと思う
- ・ 分煙化の徹底

13. 所属部門の仕事の成果

図12. 所属部門の仕事の成果



次に、自分が所属するセクションでは、過去1年間で仕事の成果が上がっているかを聞きました。

「ほぼ横ばいである」(60.8%)が最も多く、「やや上がっている」(26.8%)が続いています。そのほかはいずれもさほど多くありません。

性別に見ると、<男性>は“上がっている(大いに上がっている+やや上がっている)”(36.3%)が<女性>(22.5%)を上回っています。

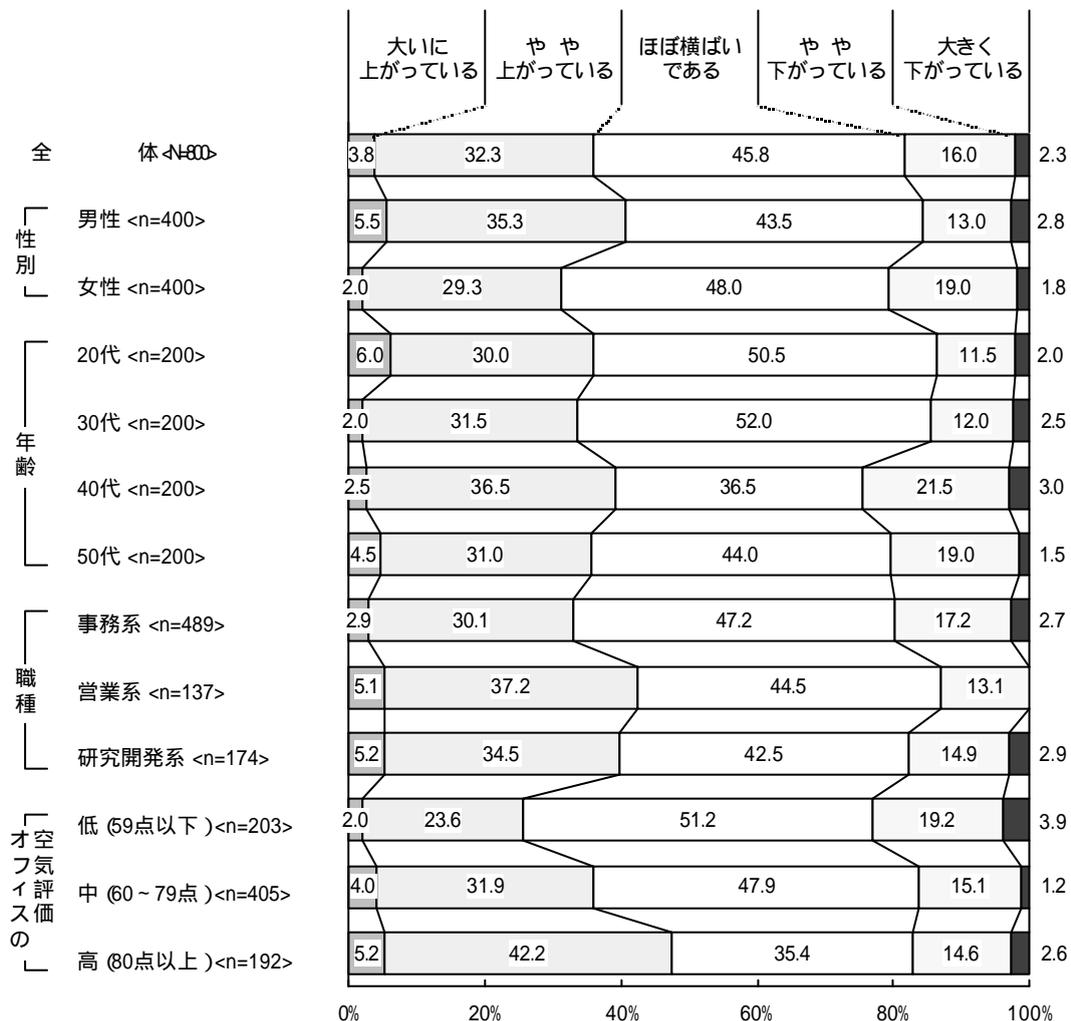
職種別に見ると、<営業系>は“上がっている”(36.5%)が他よりわずかながら多くなっています。

部屋の区切り別に見ると、<セミクローズド>は“上がっている”(36.6%)が他をわずかに上回っています。

オフィスの空気評価別に見ると、<高く評価している人>は“上がっている”(42.2%)が<中程度に評価している人>(28.4%)や<低く評価している人>(19.2%)を大きく上回っています。

14.会社の業績

図13.会社の業績



自分の会社の業績は、昨年に比べてどうかを聞きました。

「ほぼ横ばいである」(45.8%)が最も多く、次いで「やや上がっている」(32.3%)が3割強となっています。「やや下がっている」(16.0%)は1割強です。

「大いに上がっている」と「やや上がっている」をあわせた“上がっている”が36.0%であるのに対し、「やや下がっている」と「大きく下がっている」をあわせた“下がっている”は18.3%にとどまっています。

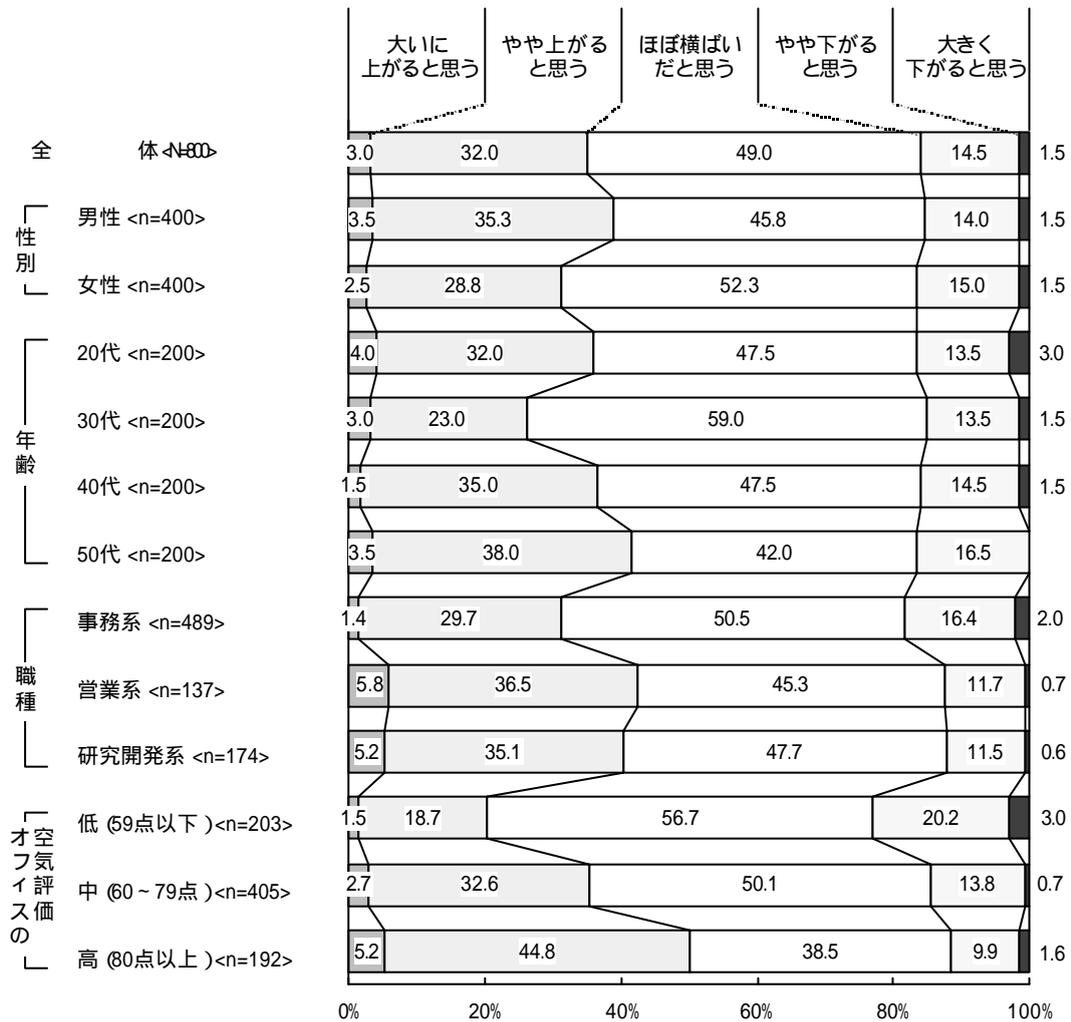
性別に見ると、<男性>は“上がっている”(40.8%)が4割あるのに対して、<女性>(31.3%)では3割です。

職種別に見ると、<営業系>は“上がっている”(42.3%)が4割を超え、他をわずかながら上回っています。

オフィスの空気評価別に見ると、<高く評価している人>は“上がっている”(47.4%)が半数弱を占めており、<中程度に評価している人>(35.8%)や<低く評価している人>(25.6%)を大きく上回っています。

15. 今後1年間の会社の業績見込み

図14. 今後1年間の会社の業績見込み



また、自分の会社の業績は、今後1年間でどのようになると思うかを聞きました。ほぼ半数が「ほぼ横ばいだと思う」(49.0%)とじていますが、「やや上がると思う」(32.0%)が3割を超えています。

「大いに上がると思う」と「やや上がると思う」をあわせた“上がると思う”は35.0%で、「やや下がると思う」と「大きく下がると思う」の“下がると思う”(16.0%)は1割強です。

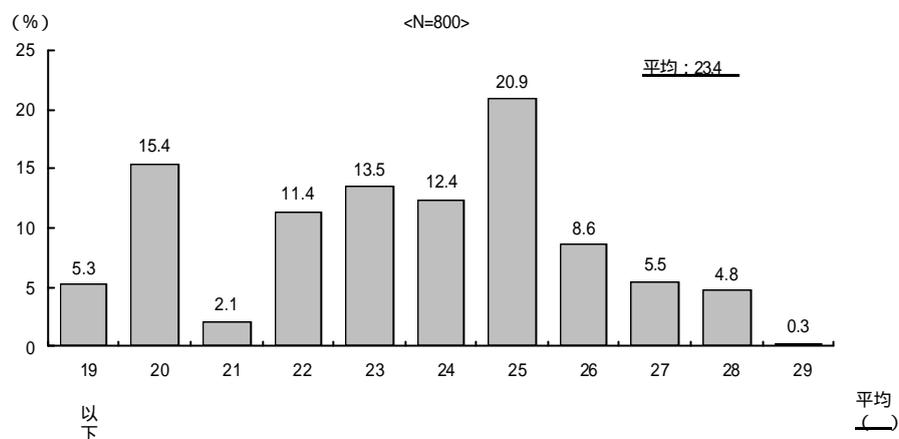
性別に見て、<女性>は“上がると思う”(31.3%)が<男性>(38.8%)より多くなっています。年齢別には、“上がると思う”は<50代>(41.5%)で多く、30代(26.0%)では少なくなっています。

勤務形態別に見ると、<主に外勤>は“上がると思う”(44.4%)が<主に内勤>(33.8%)より多くなっています。

オフィスの空気評価別に見ると、<高く評価している人>は“上がると思う”(50.0%)が<中程度に評価している人>(35.3%)、<低く評価している人>(20.2%)を大きく上回っています。オフィスの空気を高く評価している人ほど会社の業績も向上すると予測しています。

16.冬のオフィスの快適な室温・湿度

図15.冬のオフィスの快適な室温

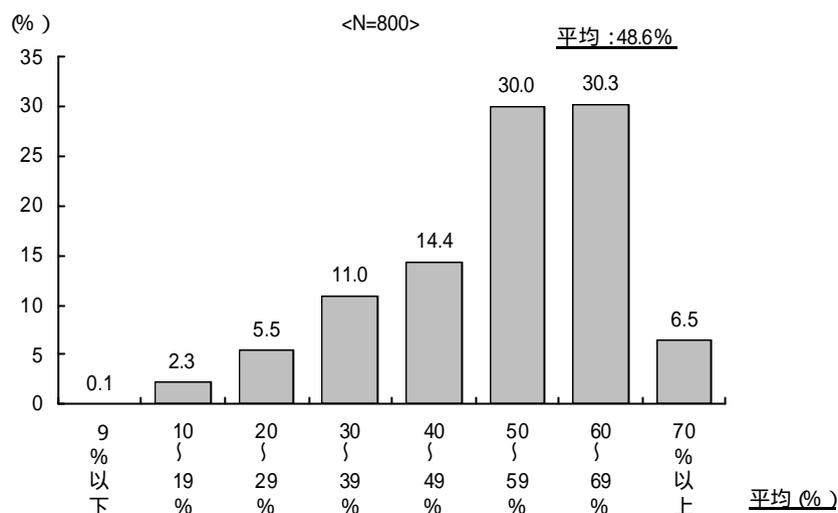


性別	室温 (°C)												平均 (°C)
	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29		
男性 <n=400>	6.5	19.5	3.0	12.5	11.0	11.3	19.5	8.0	4.8	4.0	-	23.0	
女性 <n=400>	4.0	11.3	1.3	10.3	16.0	13.5	22.3	9.3	6.3	5.5	0.5	23.8	
年齢	20代 <n=200>	3.5	17.0	2.0	8.5	12.5	13.0	21.5	10.5	5.5	6.0	-	23.6
	30代 <n=200>	6.0	17.0	2.0	16.0	9.0	12.5	19.0	8.5	5.0	4.0	1.0	23.2
	40代 <n=200>	6.5	17.0	2.0	12.0	15.5	14.0	18.0	5.5	5.0	4.5	-	23.1
	50代 <n=200>	5.0	10.5	2.5	9.0	17.0	10.0	25.0	10.0	6.5	4.5	-	23.7
職種	事務系 <n=489>	5.9	14.7	2.0	10.6	13.3	11.5	21.3	9.4	5.7	5.1	0.4	23.4
	営業系 <n=137>	4.4	17.5	3.6	12.4	17.5	12.4	22.6	3.6	2.9	2.9	-	23.0
	研究開発系 <n=174>	4.0	15.5	1.1	12.6	10.9	14.9	18.4	10.3	6.9	5.2	-	23.5
オフィス空間の評価	低 (59点以下) <n=203>	6.9	16.3	1.5	8.9	12.3	9.9	25.1	7.4	6.4	5.4	-	23.4
	中 (60~79点) <n=405>	5.4	15.6	1.5	13.8	12.3	13.1	17.8	10.4	5.4	4.2	0.5	23.3
	高 (80点以上) <n=192>	3.1	14.1	4.2	8.9	17.2	13.5	22.9	6.3	4.7	5.2	-	23.5

冬のオフィスの快適だと思える室温は何度くらいかを聞いたところ、「25」（20.9％）が最も多く、次いで「20」（15.4％）の順となっています。以下、「22～24」が続いています。平均は、23.4度です。

いずれの属性で見ても、さほど大きな差は見られません。

図16 . 冬のオフィスの快適な湿度



性別	湿度 (%)									平均 (%)
	9%以下	10%~19%	20%~29%	30%~39%	40%~49%	50%~59%	60%~69%	70%以上	平均 (%)	
男性 <n=400>	-	1.8	3.8	10.3	14.3	31.8	31.8	6.5	49.8	
	0.3	2.8	7.3	11.8	14.5	28.3	28.8	6.5	47.4	
年齢	20代 <n=200>	-	5.0	10.5	14.5	17.5	30.5	18.5	3.5	43.2
	30代 <n=200>	0.5	2.5	6.0	8.5	15.0	33.5	29.5	4.5	48.1
	40代 <n=200>	-	1.0	3.0	13.0	12.0	25.5	35.0	10.5	51.0
	50代 <n=200>	-	0.5	2.5	8.0	13.0	30.5	38.0	7.5	52.0
職種	事務系 <n=489>	0.2	2.0	6.3	10.4	13.7	29.7	29.9	7.8	48.8
	営業系 <n=137>	-	2.2	6.6	9.5	8.8	40.1	27.0	5.8	48.7
	研究開発系 <n=174>	-	2.9	2.3	13.8	20.7	23.0	33.9	3.4	48.0
オス気フの評イ空価	低 (59点以下) <n=203>	-	3.0	8.4	13.3	15.8	28.1	25.6	5.9	46.3
	中 (60~79点) <n=405>	0.2	1.5	4.2	10.9	13.6	29.9	32.6	7.2	49.7
	高 (80点以上) <n=192>	-	3.1	5.2	8.9	14.6	32.3	30.2	5.7	48.7

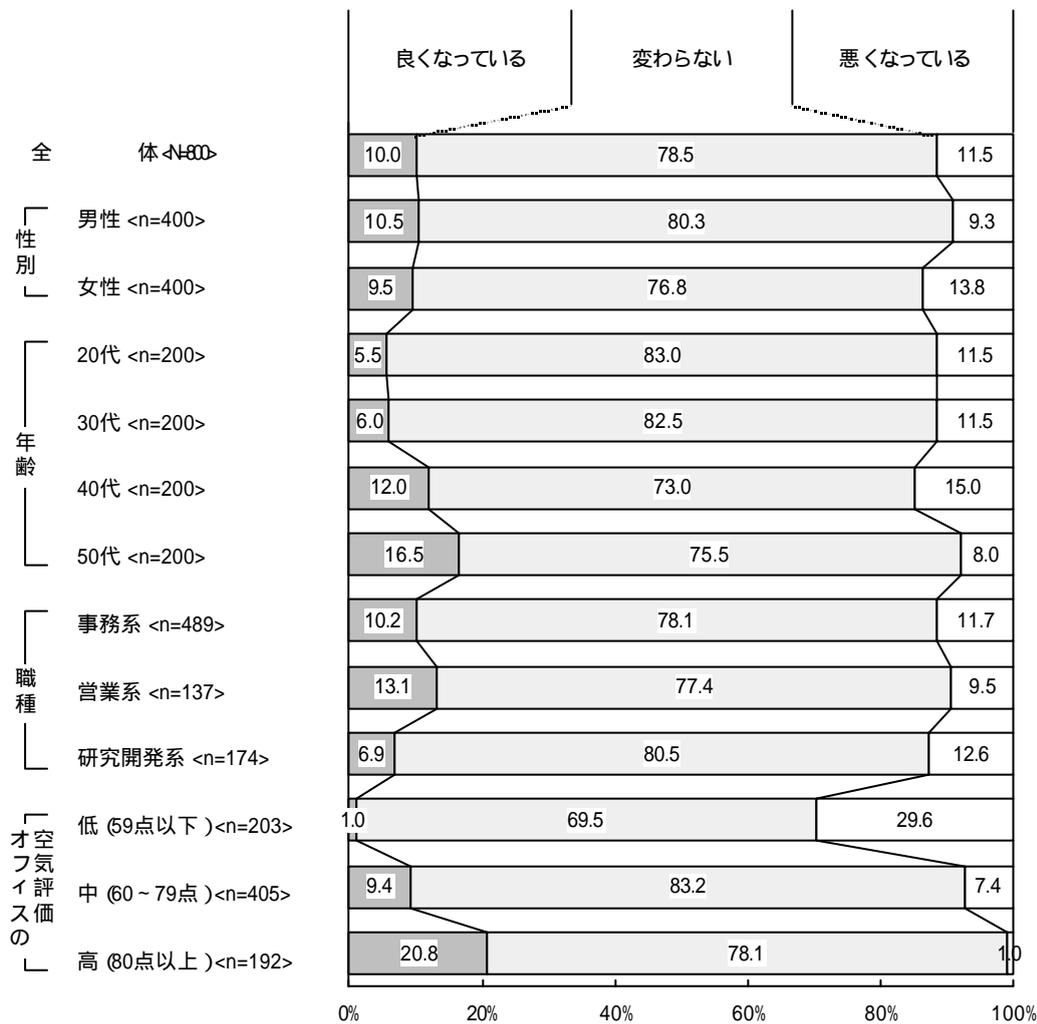
また、冬のオフィスで快適だと思う湿度を聞いたところ、「60～69%」(30.3%)と「50～59%」(30.0%)が多くなっています。

平均は、48.6%となっています。

年齢別に見ると、<20代>は43.2%であるのに対して、<30代>は48.1%、<40代>は51.0%、<50代>は52.0%と、年齢の高い人ほど“高い湿度”をあげています。

17. オフィスの空気環境は良くなっていると思うか

図17. オフィスの空気環境は良くなっていると思うか



自分がいるオフィスの空気環境は良くなっていると思うかを聞きました。

「変わらない」(78.5%) が断然多く、8割近くを占めています。「良くなっている」(10.0%) は1割で、「悪くなっている」(11.5%) と回答した人の方がごくわずか多くなっています。

性別に見ると、「悪くなっている」は<男性>(9.3%)より<女性>(13.8%)の方がわずかに多くなっています。

年齢別では、<50代>は「良くなっている」(16.5%)が他の年代を上回っており、続いて<40代>(12.0%)が多くなっていますが、<40代>は「悪くなっている」(15.0%)も他の年代に比べて多くなっています。

勤務形態別に見ると、<主に内勤>は「悪くなっている」(12.1%)が<主に外勤>(6.7%)を上回っています。内勤の方がオフィスの空気が悪くなっていると感じているようです。

オフィスの空気環境の意識度別に見ると、<意識しない人>では「悪くなっている」は4.3%にすぎませんが、<意識する人>では20.6%を示しています。

18. オフィスの空気環境に関して不快に感じていること

“ 空気の乾燥 ” に関する内容が最も多く、「空気が乾燥している」(105 件)、「空気が乾燥して静電気が起きる」(58 件)といったことがあげられています。しかし、その一方で「湿気が多い」(17 件)といった指摘もあります。

次いで“ 換気 ” に関する内容が多く、「換気してほしい」(103 件)、「塵や埃が気になる」(55 件)があげられています。

“ タバコ ” に関する指摘も多く、「禁煙にしてほしい・分煙してほしい」(95 件)、「タバコの臭いが不快」(34 件)、「喫煙コーナーの空気がオフィスに流れ込んでくる」(23 件)、「タバコの煙が不快」(12 件)と、タバコの煙への不満が多くあげられています。

また、“ 室温調整 ” に関するものでは、「温度調整が上手く出来ていない」(61 件)、「室内温度にムラがある」(44 件)、「室温が高すぎる」(42 件)、「設定温度が低い」(23 件)、「暑がりや寒がりやで温度調整が難しい」(15 件)、「OA 機器の影響で暑くなる」(10 件)、「空調が効きすぎる」(6 件)と、「暑すぎる」「寒すぎる」両方の指摘があります。

そのほか、「臭いが気になる」(37 件)などもあげられています。

< 回答の具体的内容 >

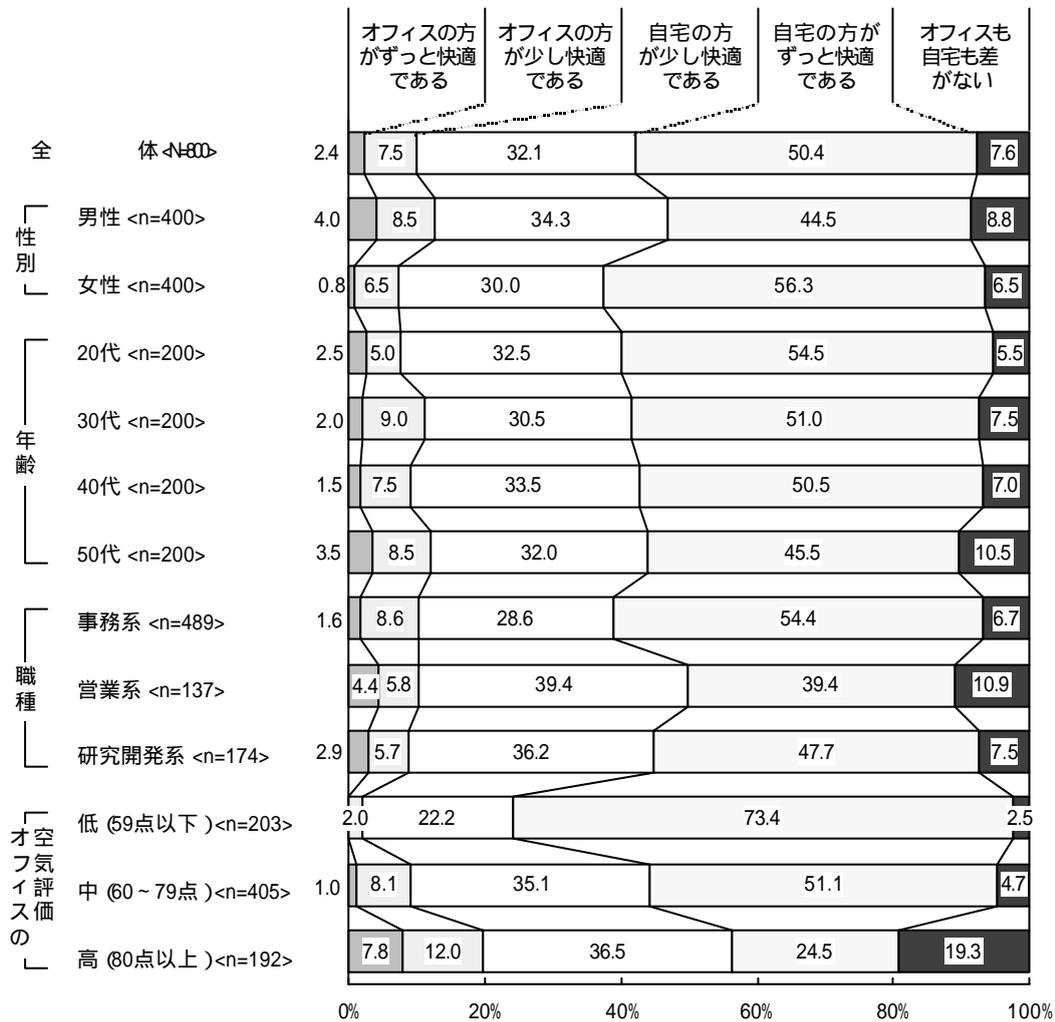
- 空気が乾燥している (105)
- ・乾燥がひどくお肌がカサカサ。(35)
- ・乾燥しているので喉が乾く、痛くなる (30)
- ・乾燥している。(20)
- ・乾燥がちなので、加湿器がほしい (8)
- ・乾燥していて、目が乾く。(5)
- ・空気の乾燥で風邪を引きやすくなる。(2)
- ・乾燥で化粧がのらない
- ・テレコミュニケーターなので、乾燥で喉をやられるのが一番心配です
- ・プレゼン中など話をしていると乾燥しているために声が出ずらくなる
- 換気してほしい (103)
- ・換気が悪いので、臭いがこもる。(23)
- ・空気が澱んでいる。(19)
- ・空気の循環が悪く、息苦しい。(19)
- ・窓が開けられないため、外の空気を入れることができない。(15)
- ・とにかく空気の入替えをきちんとしてほしいです。(6)
- ・喫煙所の換気が良くない。(3)
- ・応接室の喚起をして欲しい(2)
- ・会議室の換気をよくしてほしい(2)
- ・とにかく空気がまずい。息をするのも嫌って感じです。
- ・古い資料や本の臭いがこもってにおうので、換気を良くしてほしい。
- ・朝はさわやかな空気が欲しいがなかなか換気されない
- 禁煙にしてほしい・分煙してほしい (95)
- ・オフィス全体を禁煙にしてほしい。(30)
- ・喫煙コーナーを設け分煙して欲しい(21)
- ・会議室全体を禁煙にしてほしい。(14)
- ・禁煙や分煙が徹底されない(11)
- ・禁煙が上司の意向で徹底されていない(5)
- ・応接室を禁煙にしてほしい(3)
- ・事務所を禁煙にして欲しい(2)

- ・煙草を吸わない人にとって、喫煙は一種のハラスメントです。
- ・喫煙スペースがあるのに、事務局長は平然とデスクで喫煙をする。(来局者や他の社員は禁止)
- ・とにかくタバコ。親分がヘビーだと、男性社員は右にならえになってしまう。
- ・決まった喫煙場所が無いせいで、トイレでタバコを吸う人がいるから、喫煙所を設けてほしい。温度調整が上手く出来ていない(61)
- ・とにかく温度調節をきちんとしてほしいです。(22)
- ・空調の風が直接当たって不快(9)
- ・温度設定が集中管理なので暑すぎる(4)
- ・空調の温度調節が悪く、少し高めになる。また、まんべんなく暖気がまわらない(2)
- ・空調の風向きを自由に換えられるようにしてほしい。
- ・とにかく夏は暑く冬は寒い。エアコンを2台つければ寒く1台だと暑い。常に夏は室内30度ある。
- ・夏場はやや温度設定が低すぎて寒く、冬場は温度設定が高すぎて暑い
空気が乾燥して静電気が起きる(58)
- ・空気の乾燥で静電気が起きる(45)
- ・空気が乾燥して静電気におびえている。(2)
- ・空気の乾燥で髪が静電気で傷む。
塵や埃が気になる(55)
- ・ほこりっぽい。(18)
- ・空気清浄機が欲しい。(12)
- ・アレルギー性鼻炎なのでチリ・ほこりが気になる(2)
- ・空気が悪くて肌や体に悪い。全室にちゃんとした空気清浄機等をたくさん設置して欲しい
室内温度にムラがある(44)
- ・温度調整にムラがある(21)
- ・場所よっての温度差が激しすぎる点です(16)
- ・場所により室内温度差があるので一定にして欲しい(2)
室温が高すぎる(42)
- ・暑い(13)
- ・室温が高すぎて仕事に集中できない(10)
- ・暑い。なぜこの時期に半そででないか暑いのか理解できない温度設定
- ・寒がり屋さんが室温をやたら上げるのは困ったものだ
- ・冬場の室内温度が少し高い。頭がボーっとするので、もう少し低くても良いと思う
- ・室温を高くするオヤジがいるかぎりどうにもならない
- ・所長一人の都合で極端に暑い
臭いが気になる(37)
- ・臭いが気になる(15)
- ・空調やエアコンからかび臭い匂いがする(5)
- ・トイレの換気が不十分で臭いのを改善して欲しい(5)
- ・女性社員の化粧のにおいが不快に感じるときがある(3)
- ・食べ物のおいをすぐに消してほしい(2)
- ・建築材から出ているらしい有機ガスのような臭いが気になる。
- ・犬がいるので臭い
タバコの臭いが不快(34)
- ・タバコの臭いが不快です(23)
- ・男性社員は所かまわずタバコをすうので洋服や髪ににおいが染みつくと(4)
- ・タバコを吸って入ってきた人の臭いが消えるような換気が理想
- ・応接室は、来客のたばこの匂いがなかなかとれないので、改善してほしい
- ・会議室のタバコの臭いは窓を開けたりしても全然取れません！
喫煙コーナーの空気がオフィスに流れ込んでくる(23)
- ・喫煙コーナーの空気が部屋に流れ込んで来る(18)

- ・喫煙所と事務所の間に仕切りがない。
- ・喫煙所を通らないと出入りできない設計なのでなんとかしてほしい
- ・給湯室と喫煙所が同じ場所にあるため別の場所にしてほしい。
- ・隣の部屋が喫煙所なので屋外に移動してほしい
設定温度が低い(23)
- ・膝掛けをしていても足元が寒い(6)
- ・足元は冷えるのに、上部だけ暑い(4)
- ・とにかく寒い。ただそれだけです
- ・寒くて冬はスカートの下に防寒対策、タイツ完備。夏はもう冷房が利きすぎて、防寒対策が欠かせません
- ・外が涼しいのに冷房を入れている異常な状況
湿気が多い(17)
- ・雨の日は湿度が高い(11)
- ・梅雨時期に湿度管理が十分行えないときがある
- ・湿度管理が不十分で不愉快な時が多い。
- ・雨の日はトイレと給湯室の湿気がすごいところが気になる
暑がりやと寒がりやで温度調整が難しい(15)
- ・寒い人と暑いと考える人で空調の温度設定の差がある(10)
- ・温度の設定が人の感じ方により違うので標準温度にと思う
- ・自分以外男性なのでどうも室温の感じ方の感覚が違う。
タバコの煙が不快(12)
- ・タバコの煙が非常に不快(9)
- ・煙で目がいたくなる。
- ・喫煙コーナーが同じ部屋の中にあるので、たばこの煙が流れ来ることがあり不快です。
- ・禁煙スペースに換気扇のみではなく壁を作って煙が外に出ないようにしてほしい。
OA機器の影響で暑くなる(10)
- ・OA機器の熱で妙に暑い(4)
- ・パソコンが多いのでそれによる稼働状態で室温が不安定になる
- ・パソコン等の機器が多いので部屋が暑くなりがち。温度管理を徹底してほしい。
- ・サーバー等設置してあるため機械からの放熱で夏はとても暑いのに、エアコンをつけていると
冷え性のひとにエアコンを止められてしまう。
空調が効きすぎる(6)
- ・空調も効きすぎていて夏寒く、冬暑いところが多い。
- ・ビルの一括空調調整のため、勝手に温度を換えることが出来ず、夏は冷え過ぎ、冬は暑すぎで、
エネルギーの無駄遣いが気になり、また室内と室外の温度差の大きさに身体がついていけない。
- ・ビルの温度はフロア・部屋別に調節出来ないので暑すぎたり寒すぎたりで体調が悪くなります
その他
- ・冷暖房の設備が古すぎる(8)
- ・残業時間帯に入ると空調が停止する(5)
- ・西日が当たる(2)
- ・隙間風が入る
- ・酸素が薄い感じがする

19. 自宅とオフィス、快適な空気はどちら

図18. 自宅とオフィスの空気のどちらが快適か



次に、自宅の空気とオフィスの空気を比較して、どちらの空気がより快適かを聞きました。

「自宅の方がずっと快適である」(50.4%)が半数を占めており、次いで「自宅の方が少し快適である」(32.1%)の順となっており、両者をあわせると“自宅の方が快適”(82.5%)が8割を超えています。一方、「オフィスの方がずっと快適である」は2.4%にすぎず、「オフィスの方が少し快適である」も7.5%と、両者をあわせた“オフィスの方が快適”(9.9%)は1割にとどまっています。

性別に見ると、「自宅の方がずっと快適である」は、<女性>では56.3%を占め、<男性>(44.5%)を上回っています。

年齢別に見ると、若い人ほど「自宅の方がずっと快適である」が多くなっています。

職種別に見ると、<事務系>は「自宅の方がずっと快適である」(54.4%)が半数を超え、<営業系>(39.4%)を上回っています。また、<研究開発系>(47.7%)も半数弱を占めています。<事務系>はもとより、<研究開発系>にとってもあまりよい環境とは言えないようです。

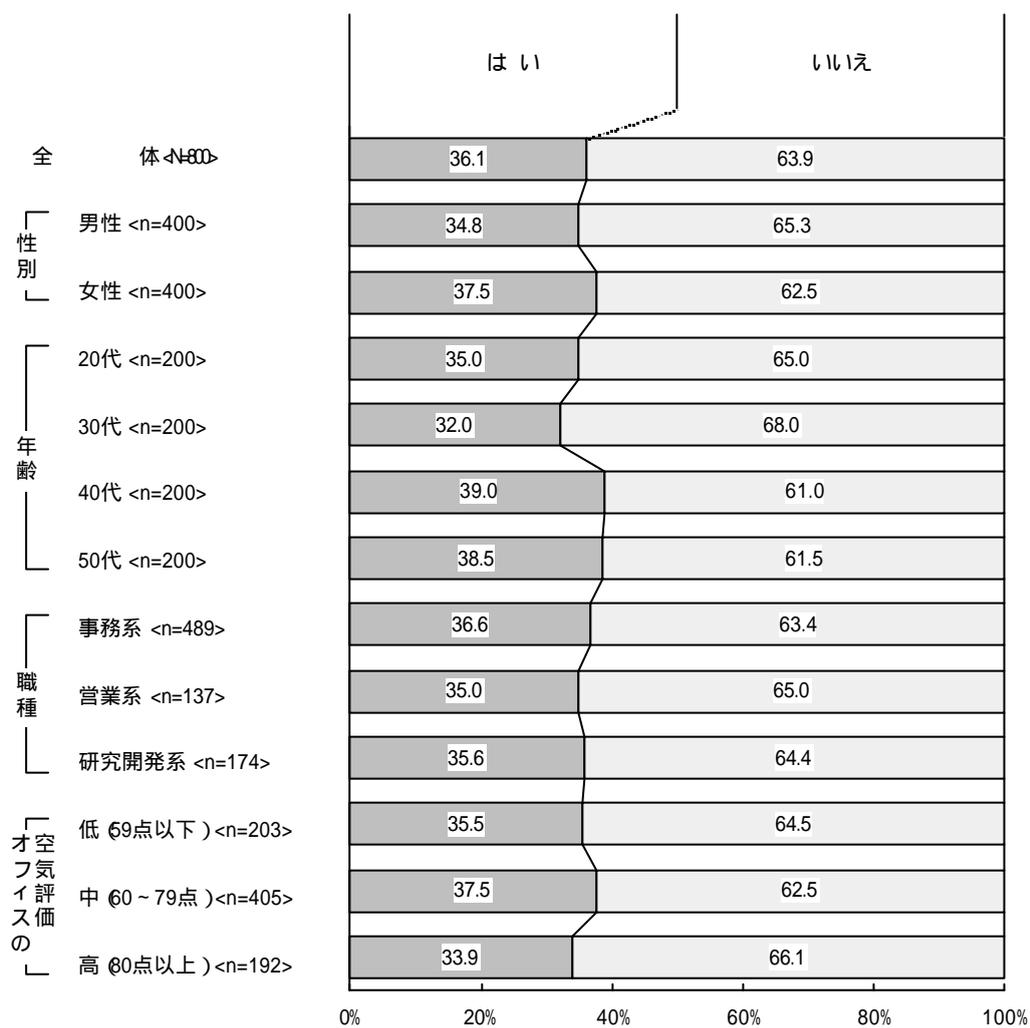
勤務形態別では、「自宅の方がずっと快適である」は<主に外勤>(37.8%)では4割弱ですが、

<主に内勤>（52.0％）では半数を超えています。内勤者にとってオフィスの空気環境の悪さは相当に深刻のようです。

オフィスの空気評価別に見ると、<低く評価している人>では「自宅の方がずっと快適である」（24.5％）は2割強にとどまっていますが、<中程度に評価している人>（51.1％）では半数強、<高く評価している人>（73.4％）では7割を超えています。

20.花粉症の有症

図19.花粉症かどうか

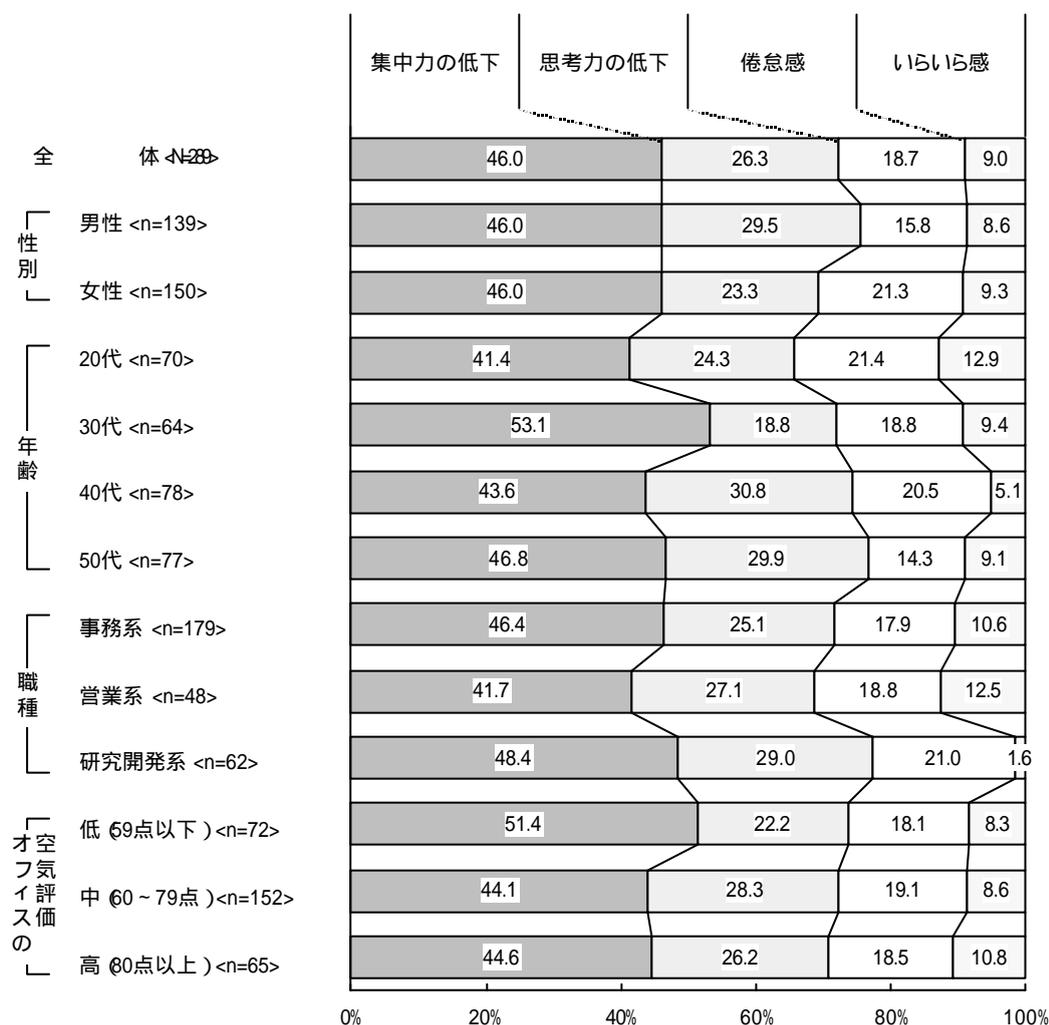


自分は花粉症かどうかを聞いたところ、「はい」(36.1%)が3割を超えています。

いずれの属性でも「はい」が3割強で、さほど大きな差は見られません。

21.花粉症により被る支障

図20.花粉症により被る支障(花粉症有症者のみ)



前問で「自分は花粉症だ」と答えた人に、仕事をしていく上で、花粉症による支障をどのようなことで最も強く感じるかを聞きました。

「集中力の低下」(46.0%)が最も多く、次いで「思考力の低下」(26.3%)、「倦怠感」(18.7%)が続きます。

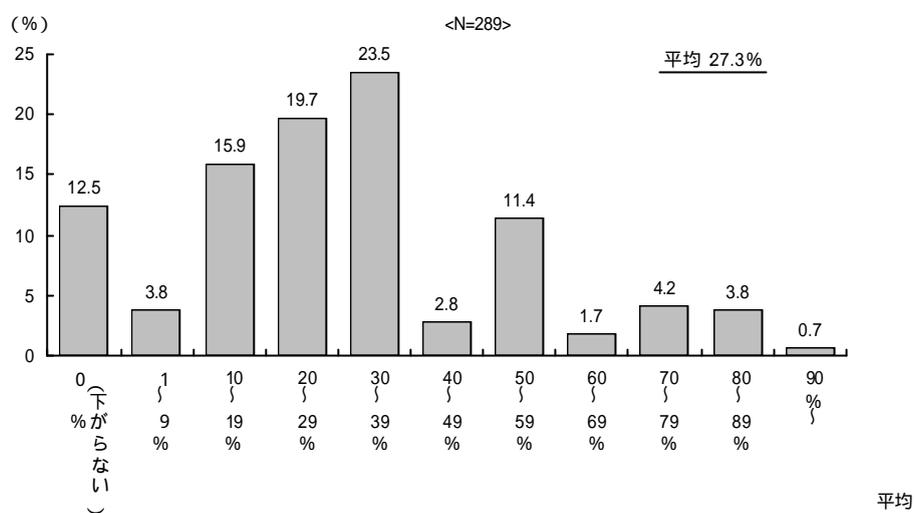
年齢別に見ると、<30代>は「集中力の低下」(53.1%)が半数を超えており、とりわけ多くなっています。

オフィスの空気環境の意識別に見ると、「集中力の低下」は<意識しない人>(41.0%)より<意識する人>(51.0%)に多く見られます。

空気環境の仕事への影響別に見ると、「集中力の低下」は<影響ないと思う人>(30.0%)では3割にとどまっていますが、<多少影響があると思う人>(43.6%)では4割強、<大いに影響があると思う人>(49.6%)では半数を占めています。

2.2.花粉症の時期の仕事効率の低下

図 2 1 . 花粉症の時期は通常の時期に比べてどれくらい仕事の効率が下がるか (花粉症有症者のみ)



		0 (下がる)	10	20	30	40	50	60	70	80	90	平均 (%)	
性別	男性 <n=139>	10.1	4.3	13.7	20.1	25.9	0.7	14.4	1.4	6.5	2.9	-	28.8
	女性 <n=150>	14.7	3.3	18.0	19.3	21.3	4.7	8.7	2.0	2.0	4.7	1.3	26.0
年齢	20代 <n=70>	10.0	2.9	11.4	14.3	27.1	4.3	17.1	-	7.1	5.7	-	32.3
	30代 <n=64>	12.5	1.6	15.6	10.9	29.7	3.1	7.8	4.7	7.8	6.3	-	31.3
	40代 <n=78>	12.8	3.8	17.9	20.5	19.2	3.8	14.1	1.3	1.3	2.6	2.6	26.7
	50代 <n=77>	14.3	6.5	18.2	31.2	19.5	-	6.5	1.3	1.3	1.3	-	20.3
	事務系 <n=179>	14.5	3.4	16.8	24.6	17.9	4.5	8.9	1.7	3.9	3.4	0.6	25.4
職種	営業系 <n=48>	14.6	2.1	12.5	12.5	35.4	-	14.6	-	6.3	2.1	-	27.9
	研究開発系 <n=62>	4.8	6.5	16.1	11.3	30.6	-	16.1	3.2	3.2	6.5	1.6	32.4
	低 (59点以下) <n=72>	6.9	1.4	8.3	22.2	22.2	2.8	18.1	4.2	5.6	6.9	1.4	35.5
オフィスの空気評価	中 (60~79点) <n=152>	11.8	4.6	20.4	18.4	25.0	3.3	9.2	1.3	2.0	3.3	0.7	24.9
	高 (80点以上) <n=65>	20.0	4.6	13.8	20.0	21.5	1.5	9.2	-	7.7	1.5	-	24.1

花粉症の季節は、花粉症でない季節に比べて仕事の効率（生産性）がどれくらい下がるかを聞きました。

「全く下がる」は 12.5%にとどまり、9割近くが「下がる」(87.5%)と回答しています。

「下がる」比率が最も多いのは「30~39%」(23.5%)で、次いで「20~29%」(19.7%)の順となっており、全体の平均では「27.3%」「下がる」という結果です。また、「下がる」と回答した人だけで見ると、平均で「31.2%」「下がる」という回答となりました。

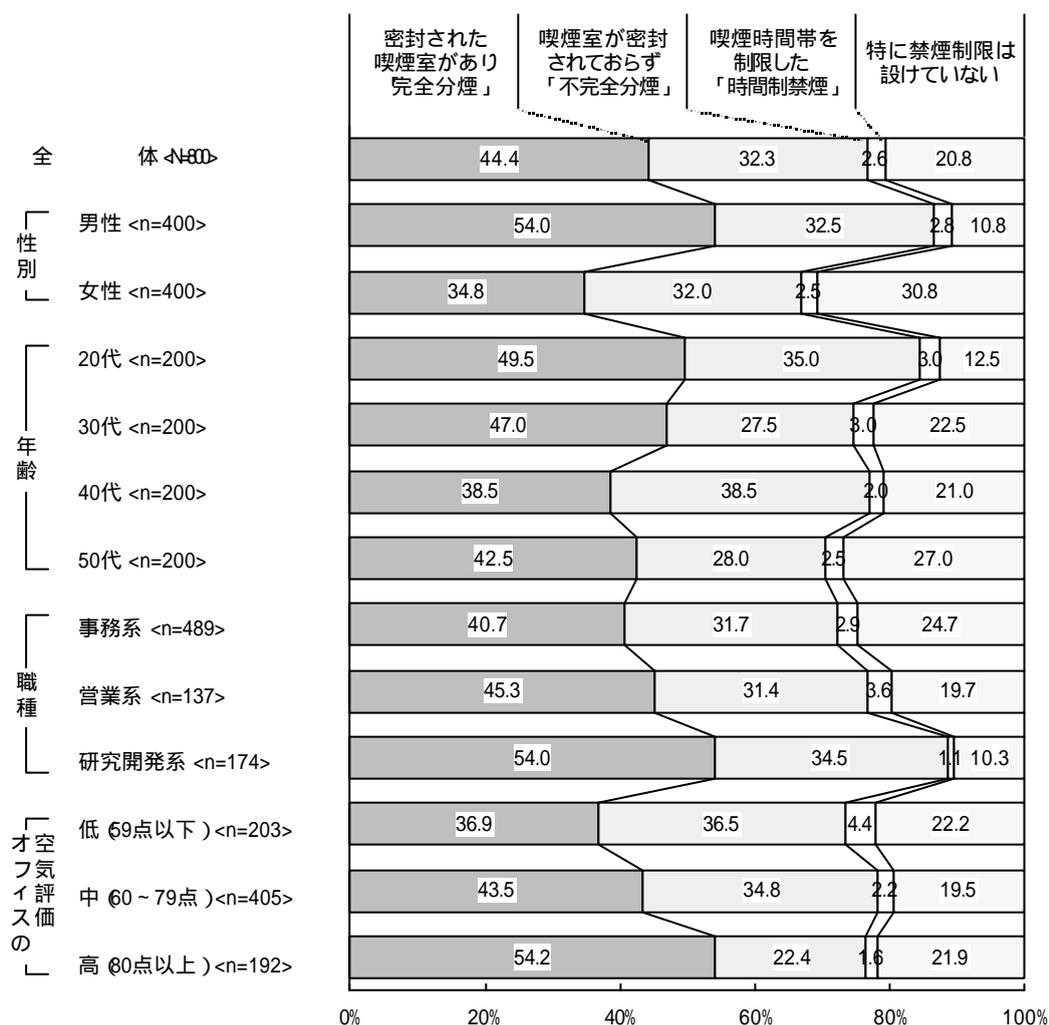
年齢別に見ると、「下がる」は年代が低いほど多い傾向が見られます。

職種別では、<研究開発系>は低下するという割合が 32.4%と、「下がる」が他の職種に比べて特に多くなっています。

オフィスの空気評価別に見ると、<低く評価している人>は低下するという割合が 35.5%で、<中程度に評価している人>(24.9%)や<高く評価している人>(24.1%)より高くなっています。

23. オフィスの禁煙・分煙対策状況

図22. オフィスの禁煙・分煙対策状況



自分がいるオフィスの禁煙・分煙対策状況について聞きました。

「密封された喫煙室があり『完全分煙』となっている」(44.4%)が4割強で最も多く、次いで「喫煙室が密封されておらず『不完全分煙』となっている」(32.3%)の順となっています。「喫煙時間を制限した『時間制禁煙』となっている」(2.6%)はあまり多くありません。しかし、いずれの方式にせよ、何らかの対策を設けているオフィスは8割(79.3%)にのぼっており、「特に禁煙制限は設けていない(禁煙・分煙化されていない)」(20.8%)は2割にとどまっています。

部屋の区切り別に見ると、<セミクローズド>では「完全分煙」(51.7%)が半数を超え“何らかの対策がある”(89.0%)がほぼ9割を占めています。<オープンフロア>も“何らかの対策がある”(79.7%)が8割近いのに対して、<クローズド>(67.9%)では「完全分煙」(37.6%)は4割に満たなく“何らかの対策がある”(67.9%)も7割弱となっています。

オフィスの人数別に見ると、<51人以上>では「完全分煙」(73.5%)が7割を超え、ほとんどのオフィスが“何らかの対策がある”(98.4%)、<21~50人>でも9割以上が“何らかの対策

がある”(91.1%)としているのに対して、<20人以下>では“何らかの対策がある”は65.6%にとどまり「特に禁煙制限は設けていない」(34.4%)が3割以上見られます。

オフィスの空調別に見ると、“何らかの対策がある”は<ビル集中管理>(86.0%)や<フロア別管理>(84.0%)では8割を超えていますが、<個別管理>(72.7%)では7割強にとどまっています。

空気環境の仕事への影響別に見ると、<大いに影響があると思う人>では「完全分煙」(48.3%)が半数近くを占め、8割以上が“何らかの対策がある”(84.6%)としており、<多少影響があると思う人>でも「完全分煙」(43.6%)が4割を超えているのに対して、<影響ないと思う人>(22.2%)では2割強にとどまっています。禁煙・分煙が進められていないオフィスで働いている人ほど“タバコによる空気環境の悪さが仕事の効率低下を招いている”と考えているようです。

24.仕事の効率という観点からのオフィスの禁煙・分煙対策に対する考え

【喫煙者の意見】では「効率が下がる」が51件と、禁煙・分煙を歓迎しない向きが「効率が上がる」(32件)をやや上回っていますが、「効率に影響はない」(32件)との意見も多くあげられています。

一方、【非喫煙者の意見】では、「禁煙・分煙で効率が良くなる」(155件)と禁煙・分煙を歓迎する指摘も多くあげられていますが、禁煙・分煙を進めてもなお、「タバコの臭いで作業効率は落ちる」(150件)「タバコの煙は能率を下げる」(78件)と、“完全禁煙にしない限り非喫煙者の仕事の効率低下を招いている”とする意見も非常に多くあげられています。さらに、喫煙のたびに喫煙ルームへ行く愛煙家に対して「喫煙しているのを見るとサボっているように思う」(10件)「喫煙者を探す手間が増え効率が悪くなった」(5件)などの意見があげられています。その一方で、「特に影響はありません」(33件)との意見もあります。

そのほか、喫煙者、非喫煙者両方の立場から“禁煙・分煙”に対するさまざまな意見が多くあげられています。

<回答の具体的内容>

【喫煙者の意見】

効率が下がる(51)

- ・タバコを吸うたびに喫煙所まで行かなくてはならず、仕事の効率が下がってしまう(40)
 - ・仕事の効率が下がってしまう。(3)
 - ・ベランダ以外喫煙不可って状態で、タバコを吸う度に外に出るので効率悪い。この先冬は寒そう
 - ・考える時に煙草を吸いたいのに席で吸えないので能率が下がっている
 - ・会議中に長時間の禁煙を強いられると効率がおちる
 - ・効率は悪いが喫煙室に行くことで気分転換できる。
 - ・タバコを吸う人が退室した後もにおいが残っていらいるため仕事の効率が下がる。
 - ・タバコの時間が作業の遅れを引き起こす時がある
 - ・もし、完全禁煙になると仕事の効率が下がると思う
 - ・非喫煙者には申し訳ないと思いながらも、喫煙しないとイライラして仕事の能率が悪くなる
- 効率が上がる(32)
- ・タバコを吸うたびに喫煙所まで行くため、いい気分転換になる。(22)
 - ・喫煙所で色々な人と情報の交換をして、仕事をして行く効率が上がる。(2)
 - ・面倒ではあるが、全体を考えれば効率は上がると思う
 - ・ながら仕事にならず、ある意味では効率的
 - ・タバコの一服は、思考回路の切り替えに有益。
 - ・違う所にタバコを吸いに行くことは気分転換にも良いが、回数が減ってもチェンスマーキングになってしまう。

効率に影響はない(32)

- ・とくにない(20)
- ・喫煙所までは遠いが、休憩を兼ねているので仕事の効率としては問題なし。
- ・やはり非喫煙者には遠慮しないと失礼だと思うが、喫煙場所が少なく不便です。仕事効率にはそれほど影響無し。
- ・休憩時間の喫煙なので特に影響は無い。
- ・分煙でも吸えるので仕事効率には影響無し。
- ・分煙されているので特に問題はない。

禁煙や分煙そのものに対する意見(138)

- ・時代のすう勢で仕方が無い。(9)

- ・ 仕事中は当然吸ってはならない。
- ・ オフィスは禁煙が良い
- ・ 非喫煙者の立場を考えれば、分煙は当然
- ・ 非喫煙者への配慮が大変
- ・ 良い事、喫煙者もマナーを守るべき
- ・ においは防ぎようがないので、分煙、禁煙は当然である。
- ・ 当たり前
- ・ 当然のこと。
- ・ いいことだと思う
- ・ いたしかたないと思う。非喫煙者もいることだし、ある程度の制限はしょうがないと思うが、完全禁煙にするのはやめて欲しいと思う
- ・ 「禁煙権」は認めますが「喫煙権」は認めてもらえない。確かに健康に害は有ると思うけど、「全て禁煙」はどうかと思う。(2)
- ・ 喫煙禁煙はフロアを別にして仕事すれば良い
- ・ 喫煙室が臭う
- ・ 喫煙室の換気が不十分
- ・ 喫煙室の空気が悪い。
- ・ 喫煙所が狭く換気&温度調節が快適とは言えず、かなりの人数での利用なのでリラックスすべき場所なのにストレスが溜まる。
- ・ 喫煙は外なので特に今の状態で構わないが冬は少し寒い
- ・ お客様からみえるスペースや大事な書類を扱いながらの喫煙には疑問があったので、数年前に営業室内全面禁煙になったときはこうあるべきと思いました。が、特に喫煙ルームがないので給湯室、廊下、休憩室がいつも煙で白くタバコ臭いのは喫煙者の私でもかなり気になります。
- ・ お互い嫌な思いをしないように思いやれば分煙の方が良い
- ・ きっちり分配されているので、不便などを感じたことが無い
- ・ じっくり考えるとき、タバコも吸いたい
- ・ 吸いたい時に吸えない
- ・ たばこが、行政地区できに、全面的に、禁煙地帯みたいなものなので、心やすまるときがない。
- ・ タバコのけむりで咳がひどくなったりするので、冬場の喫煙は特に吸わない人の健康に問題を及ぼすと思う。
- ・ たばこのため遊んでいると他部署にみられる
- ・ タバコを吸わない人には迷惑なので、きちんと分煙してほしいと思う。
- ・ タバコを嫌いな人もいるので、分煙対策するのは当たり前である
- ・ たばこの健康に対する不安ばかりあおっておいて販売しているのは国が大きくかかわっているというのをおかしい。またそれなりに税負担も大きいのでその辺をきちんと表明すべきである。また飲酒に対してももっと制限すべきである。泥酔した人は不快感を感じる。
- ・ タバコの匂いが自分の吸っているとき以外に匂うのが嫌なので、分煙されている方が仕事がし易い。
- ・ タバコは吸いたいが汚い空気はいや。素敵な喫煙室が欲しい。
- ・ タバコをすう場所が狭すぎて、ゆっくりすえないときがある
- ・ タバコを吸うのは自由だと思うけど、場や時間をわかまえるのが常識。食事中の方がいるのに、自分が仕事をしているからと言って、ばかばかそばですべきではない。
- ・ タバコを吸う人の机の上に個別の空気清浄機があるんですがやっぱり煙は散乱してるのを見るので、私はトイレで吸っています。
- ・ たばこを吸う本数が減るので、いいと思う
- ・ タバコを吸わずにストレスをためるより吸ったほうがよい。
- ・ タバコを嫌がる方の前では、やはり肩身がせまい思いをします。(自分の事業所ではないが、支社などの場合は分煙が決まっているが、支店などで研修や会議などに行き、事業所では喫煙する場所が決まっていないので)
- ・ ヘビースモーカーじゃなければ、ある程度なら我慢できる。マナーと協調性の問題だと思うの

で、喫煙時間など上手く利用すれば大丈夫だと思う。

- ・つらい
- ・みんながたばこを吸うので分煙する必要がない
- ・ランプがあるため気にせず吸える。
- ・一回あたりの喫煙本数が倍になった。一日当たり、1.5 倍の喫煙本数になってしまった。
- ・煙草を吸えない環境では仕事の効率が却って下がるので、分煙化を徹底すればよい。一方、節煙自体は健康にとって成すべきことなので、オフィス内にある程度の禁煙スペースと、空気の管理をするインフラは必要でしょう。会議室と個々のデスクは禁煙で良いですが、喫煙のできる仕事のスペース、例えばPCを使えるスペースは、必要だと思います。
- ・完璧な分煙にした方がすう方も吸い易い
- ・幹部達がいけない時は自然と禁煙化しているので堂々と吸えない。
- ・気楽に喫煙したい
- ・喫煙者が悪者扱いで、厳しい。吸っても良いですが、と聞くことすら罪悪のような雰囲気にはまっています。
- ・喫煙者だが 工作中は吸わないので 自分は特に問題はない。他の喫煙者が 喫煙室へ行くために ひんぱんに席を立ち後ろを通るので それが気になる。それが
- ・喫煙者であるが、他の方の煙は気になるので分煙のほうがよい。
- ・喫煙者でも煙草のけむりとにおいは気になります。完全分煙だと助かります。
- ・喫煙者のほうが圧倒的に多いので何も設けてはいない。 煙草の煙や臭いが嫌ならば、そういう環境の仕事に就けばよいと思う。
- ・喫煙者数に対して喫煙室が狭い
- ・喫煙所があればいいがうちの会社は外
- ・喫煙所にしか売ってない飲み物がある事が許せない
- ・喫煙所まで行くのが気分転換になっていい。ただ、完全分離していないので、非喫煙者には申し訳ない気分・・・
- ・喫煙場所が一箇所しかないの、あと二箇所ほど増やして欲しい。
- ・喫煙席が階段の踊り場にあるが、換気扇が小さいため換気効率が悪く、臭いや煙が立ち込めてしまい、非喫煙者に悪い。
- ・休憩が取れるため喫煙所があってもよいと思う
- ・休憩できてちょうどいい。 席の離れた人とも会話をする機会が出来る。
- ・休憩や喫煙場所を設けて 喫煙するひともしない人も気分転換させてほしい
- ・休憩時間に換気扇を回し、その下で喫煙しているがそれほど不満はない。
- ・吸えるだけたままし
- ・吸える場所が少ない
- ・吸わない人がいると吸えないのが不便
- ・狭い職場なので非喫煙者に気をつかう。 換気に関しても心配であるが吸ってしまっている。
- ・業務上のイライラも、喫煙時間・場所が設定されているため、わざわざ席を立たなければならないので、効率は悪いと思う。
- ・禁煙になるとイライラがつのような気がする。
- ・苦にならない。
- ・空気清浄機があるので気兼ねなく喫煙している
- ・空調設備の改善で、共煙（喫煙者も非喫煙者も共存できる空間作り）をすすめて欲しい。
- ・建屋全体が禁煙なので吸いたくても吸えないからいいのではないか。
- ・肩身が狭くなり喫煙室の環境を良くしてほしい
- ・現状で良い。 工作中喫煙の習慣がない自分は不自由は感じない。
- ・座る場所が無いのでゆっくりしてられない。
- ・作業場所を喫煙者は 喫煙エリアになっているので良い
- ・仕事での思考中の集中感を必要とするとき絶対必要なもので、その場で吸いたいが、やはり分煙にしたほうが他人にはよいことだと思う。
- ・仕事の区切りで喫煙したいが、吸う場所が少ないとなかなか吸えない

- ・仕事の効率は上がるが、女性一人で喫煙ルームに入るのは 勇気が要る。
- ・仕事にタバコを吸う時間がないので、その時間を仕事に当てられてよいと思う。
- ・仕事にタバコを吸わないから、分煙でも問題は無い。
- ・仕事にタバコを吸わないようにしているので特に影響なし
- ・仕事にタバコを吸わないし、吸うとしても休憩時間だけなので、分煙にしてくれた方がいい。タバコを吸いながらの作業の方が効率が落ちると思う。
- ・仕事をしている時は吸わないのでどちらでもよい
- ・仕事にイライラして、吸いたいときにいつでも吸える状況なので、体にはよくないと思う
- ・仕方がないと思っている
- ・思ったときに吸えない。喫煙者は肩身が狭くいららすることもある。
- ・私が働く職場は完全禁煙で、誰も社内では吸わない。それが普通になっているから、何も気にならないし、空気も良いですよ。私は喫煙者ですが、朝7時から夕方7時まで禁煙しているようなもの。どうしても吸いたい人はビルの外で喫煙したり、食事の時に喫煙に出たり。1ヶ所だけ社内に吸えるところがあるらしいです。健康を考えれば、吸わないほうがいいのですから、今の社内に満足しています。
- ・私は営業マンであるが、内勤（残業は除く）時は全面禁煙が望ましいと思う。吸いたくなったら営業をしなくてはならない環境になると思われるため
- ・私も喫煙者ですが会社の人は歩きながらすうのでかなり迷惑。
- ・私自身喫煙するが、タバコの臭いが無いほうが仕事の効率が上がるので分煙に賛成。
- ・時間的（残業時など）はデスクでの喫煙可にしてほしい
- ・自分のタバコの匂いは嫌いじゃないが、他の銘柄は嫌いだから匂いが残っていると不快
- ・自分は、タバコは健康のためやめたいと思っているが、なかなか止められない。
- ・自分は楽でいいけど吸わない人もそばに居るので喫煙ブースが欲しい
- ・自由に吸えないのがつらい
- ・室内では禁煙も分煙もしておらず、効率の問題は不明。一つしか部屋がない零細企業に禁煙・分煙は不可能。換気することで解消。下手に禁煙すれば喫煙者・非喫煙者ともにストレスになるだろう。
- ・室内の空気がきれいだと気持ちいい。喫煙所がすくない。喫煙所の換気が不十分である。
- ・社内では喫煙しない習慣なので、仕事にタバコの煙がない環境にありたいから、分煙に賛成。
- ・集中するために喫煙が必要だが、昨今の嫌煙者の権利主張には少し疑問を感じる。
- ・所定の場所で吸うのは抵抗がある
- ・職場は完全禁煙なので、職場内では吸えないものと割り切っているため特に効率には関係ない
- ・心置きなくすえる場所があつていいと思う
- ・世間の流れからして、仕方がないと思う。
- ・節度を守った喫煙
- ・他部署の人と話すことが多くなり、今までに耳に入らなかった情報が聞けるようになった。
- ・昼間はほとんど人がいないので、仕事の効率にも影響はない。空気もなるべく入れ替えをしている。
- ・通常業務時は外にタバコを吸いに行く為効率は良くない
- ・同じフロアに喫煙所があるのであれば、分煙に賛成。ただし、定時以降や休日出勤の際には、フロアで喫煙できれば効率はあがる。
- ・特に問題はない。逆に喫煙本数が減少しているので将来的に禁煙できるかも？
- ・非喫煙者からの非難の目がイヤ
- ・非喫煙者にとっては大切な事である
- ・非喫煙者に気を使わないでいいので、分煙の方がいい
- ・非喫煙者にとっては分煙徹底が効果を上げるのでは。言ってみればどちらも構わない

【非喫煙者の意見】

禁煙・分煙で効率が良くなる（155）

- ・近くでタバコを吸われると気分が悪くなって仕事に集中できない。（65）

- ・近くで喫煙されるより分煙されている方がずっと気分もいいし、ストレスにならない。(50)
- ・オフィス内は禁煙なので快適に仕事ができる。(15)
- ・イライラさせられる事がなく効果的だと思う。喫煙者にとっても遠慮なく喫煙でき良いと思う(5)
- ・オフィスは完全分煙だが、会議室は分煙ではなく非喫煙者は集中力等が低下すると思われる
- ・タバコで空気がよごれないので快適
- ・分煙は非喫煙者にとっては仕事の効率・健康面から考えて必要だと考える。
- ・分煙でないと仕事の効率は悪くなる。
タバコの臭いで作業効率は落ちる(150)
- ・タバコの臭いがなければ集中力が上がる(86)
- ・タバコの臭いがいやなので、完全分煙を守って欲しい。(20)
- ・部屋の中がくさくならないため、仕事の能率は上がると思う。(18)
- ・髪や洋服においが移るので女性にとってとてもいやなことです。それだけで、仕事の低下になります。(17)
- ・くさい。タバコをすった後も息がくさいから、仕事の話でもするのがいやだ。(5)
タバコの煙は能率を下げる(78)
- ・タバコの煙や匂いで集中が出来ない。(45)
- ・煙は気になってイライラするから、仕事の効率を下げる。(12)
- ・煙なくてよい。たばこの煙は吸わない人にとっては最悪。(14)
- ・受動喫煙の影響で仕事の効率が低下する(3)
- ・非喫煙者からすると喫煙者の煙自体が不愉快。健康に悪いくさいし髪や服についてしまう。そんな気持ちで仕事をして効率が上がるわけが無い。
特に影響はありません。(33)
- ・臭いや煙が気になる程度。仕事にはあまり影響しない。
- ・仕事に対する影響はあまり無いと思うが(現状で慣れきってしまっているため)、健康上、煙は吸いたくないと思う。
- ・個人的には、タバコの煙や臭いはそれほど気にならないタイプなので、周囲で吸っていても効率は変わりません。
- ・場所がオフィスとは別にあるため影響は無い。
- ・フロアが違うので特に感じない
- ・ヘビーな人は嫌ですが休憩時間くらいは別にかまわないです
- ・煙については直接的には特に気にならないが健康面での懸念はある
- ・業務に集中するには時々息抜きは必要不可欠であり、喫煙が人の迷惑にならなければ問題ではない
喫煙しているのを見るとサボっているように思える(11)
- ・分煙によって快適な環境は維持出来るが、喫煙の為に頻繁に休憩を取る喫煙者を見ていると、勤務時間を無駄にしていると思う
- ・分煙でよいと思うが、それを理由に休憩時間を勝手に増やすのは非喫煙者側からすると不愉快だ。だからもっと仕事の成果を出してください。
喫煙者を探す手間が増え、効率が悪くなった(5)
- ・分煙対策が出来ているので事務室は快適だが、時間制限がないので勤務時間中でも喫煙で席を外している人に電話の取次ぎとか手間が掛かる。(3)
- ・分煙は当然必要ですが、頻繁に喫煙ルームに行く喫煙者を見ていると、喫煙ルームの設置自体も疑問に思える。
- ・担当者に用事があっても、喫煙室に行っているのが非効率となる。また、上司の意向で勝手な喫煙が横行している
禁煙・分煙そのものに対する意見(121)
- ・完全に禁煙なのがうれしい。
- ・完全に禁煙にするのがいい
- ・全館禁煙が望ましい

- ・全面禁煙を希望している
- ・全面的に禁煙にしてほしい
- ・禁煙が当然（２）
- ・禁煙してほしい
- ・禁煙すべき
- ・ビル内禁煙が常識である。
- ・分煙より全面禁煙がいい。
- ・完全分煙がぜったいいい
- ・完全分煙が望ましい。
- ・完全分煙であれば更に良いと思う。
- ・完全分煙にしてほしい
- ・完全分煙は必須である
- ・分煙は当然
- ・分煙は当然なのに、実行されていない。
- ・分煙は必要最低限のことであり、意識向上が望まれる
- ・分煙を徹底した方がよい。
- ・分煙賛成です。
- ・分煙に賛成です
- ・分煙の徹底
- ・分煙は今ではある程度当たり前はず
- ・フロアでの分煙は、常識だと思う。
- ・分煙により服に匂いが残らないので助かる
- ・３年ほど前まで喫煙者だったので禁煙のつらさはわかりますが、全員タバコを止めれば室内はきれいだし、臭くないし、身体は健康になるし、いい事だらけだと力説しています。
- ・ある程度の換気がされてればいいと思う
- ・いいことと思う
- ・いっそ社内全体を禁煙にするべき。分煙では結局不十分。明らかに健康に害があるわけだから
- ・いまの職場は喫煙室があるのに休憩室が無く、非喫煙者は休憩を取りづらい
- ・ウチの会社では誰も吸わないので、たまに来られるお客様が吸う場合は灰皿を用意するが、大抵、理解して吸われない事が多い。
- ・オフィス全体（ビル全体）が禁煙なので、オフィス内にいる時は野外にいるより寧ろ快適。喫煙者は、非喫煙者がいても気にならないだろうが、非喫煙者は喫煙者が近くにいると不快に思うことが度々あることを自覚する必要がある。
- ・オフィス全体を基本的には禁煙とし、喫煙室の設置で社員には対応、幾つかある応接室も来客者用に禁煙と喫煙とに分けるべきと考えております。
- ・オフィス内で喫煙する者はいないので良いことだと思う
- ・ここ最近禁煙したばかりなので、近くでのまれたら迷惑なことです。
- ・これだけタバコの歴史が長いのに、煙を他の人に降りかかるようにしてきたのが悪い。分煙できる方法を開発してこなかった喫煙者が悪い。
- ・そもそも喫煙を一切認めなければ良い。
- ・タバコの害が心配
- ・たばこは止めて欲しいが喫煙者の能率が下がるのは困る
- ・タバコは自分以外にも害を及ぼすことを自覚して欲しい
- ・たばこは必要ない
- ・タバコをすう人は外でなのでちょっとかわいそう。
- ・たばこを吸う人がそのフロアにいないから、来客がある時だけなので仕方がない
- ・タバコを吸う人の採用を止めてほしい
- ・トイレでたばこを吸うな
- ・とにかくどの会社でも禁煙にすべき。二次喫煙による病気など非常に怖い。
- ・とりあえず完全分煙になっているのでいいかなと思う。

- ・フロア内は完全禁煙なので、問題は無いです。
- ・まあ 絶対にタバコは廃止してほしい。
- ・もっと分煙を徹底してほしい
- ・やはりたばこは止めたほうが良い
- ・以前まで喫煙者だったが、最近禁煙を始めた、確かに近くでタバコを吸われると、吸いたくなくなってしまったのでやめて欲しい。
- ・煙草はやめてほしい。
- ・煙草を吸わない人間が他人の煙を吸われる謂われはないので分煙は至極当然である。
- ・横でタバコを吸うな！！
- ・会議のたびに、灰皿を用意したり、洗って片付けたりしなければならなかつたが、会議も禁煙になって手間がなくなってよかった。
- ・会議室での禁煙を徹底すべきである。全社禁煙 day を設けるのも一案である。
- ・灰などがごみが植える
- ・階段が喫煙所となっていますが、喫煙者は少しかわいそうな感じです。
- ・喫煙自体に害があるが、間接喫煙はそれ以上に害があり、喫煙者には後者を良く認識してもらいたい。
- ・喫煙室があるからよい
- ・喫煙室の空気清浄機があまり役にたっていないので、部屋のドアが開きっぱなし。
- ・喫煙者がいないので快適です。
- ・喫煙者が近くにいないのは他人の煙を吸うことにならないので自分にとってはいいこと
- ・喫煙者でもないのに無理やり煙をすわされるのはかなわない。体調も悪くなるので分煙を義務付けてほしい。
- ・喫煙者と非喫煙者が一緒に居ても気にならない環境造りが必要
- ・喫煙者は、一種のストレス解消になっており、分煙室で吸うことには問題ないと理解している。非喫煙者だって、コーヒーやお茶を飲んでいるので、特に反対はできない。
- ・喫煙者はもっと喫煙に対し配慮をしなければならない時代だと思います。
- ・喫煙場所を設けて欲しい
- ・喫煙席の近くに行っても喉がイガイガするので離れているが昔はこんな中でいたのがおそろしくなる。
- ・近くでタバコを吸われるよりは仕事の効率は上がると思うが、喫煙者だけが公然と休憩できる場所があるというのは少し納得がいかないところがある。
- ・健康被害が心配です。
- ・現在は喫煙していないが、喫煙していたこともあるので、喫煙者がいてもあまり気にならないが、建物自体が禁煙になっており、喫煙者は喫煙場所を探すのが大変だと思う。喫煙しないことで、休憩が取りにくい向きもある。
- ・現状「喫煙は戸外」でよい
- ・現状のままで良い
- ・現状外で吸っているのでそんなにきにならない。
- ・今のままでの分煙化でよいと思うが、来客への対応は別の形で考える必要がある。
- ・今のままで十分だと思う。
- ・今やあたり前、何も言う事はありません（もともとはヘビースモーカーでしたが・・・）
- ・工作中的喫煙は禁止すべき
- ・事務所にいる人全員が喫煙をしないのでほとんど分煙の心配はない
- ・時代の流れでやむを得ない
- ・自分自身は喫煙者だが副流煙は吸いたくない
- ・自由には言わないが、場所の制限はすべき
- ・社長が非喫煙者なので社内で喫煙する者がいなくなった
- ・情報交換が喫煙・非喫煙で偏る
- ・職場でたばこを吸うのは酒を飲むのと同じだと思う。
- ・職場では全面禁煙にしてほしい。

- ・ 食事中にはすわないで欲しい
- ・ 人の吸う匂いはいや
- ・ 昔の方が良かったような気がする
- ・ 節度をわきまえて欲しい
- ・ 全員非喫煙者なので別でない。
- ・ 駄目といわれているもの、吸えば癖になるといわれるものを吸ったのは誰か自分の意思で吸ったのであれば、他人に迷惑をかけるな。吸っている人に対して哀れみと同時に怒りを感じる。
- ・ 体の為には分煙はありがたい
- ・ 対策なし
- ・ 大いに賛成
- ・ 中小企業の会社なので人数も少なく禁煙対策は今の処なにもしていないのが現状です。
- ・ 長時間の作業や会議の際に、喫煙者のために適当な間隔で休憩を入れないとならないので、変に気をつけてしまう。
- ・ 頭が痛くなり喫煙される方は気をつけて
- ・ 同じオフィスに喫煙者がおらず、喫煙場所などは考えていない。
- ・ 同じ空間で喫煙されると、頭が痛くなってしまう。
- ・ 肺ガンになりそうで大変迷惑する
- ・ 非喫煙者にとっては、たとえ同じ部屋で吸わないとしても、エレベーターで一緒になっただけでも気になります。
- ・ 非喫煙者はタバコの煙が苦手な人が多いので、分煙対策をすることは合理性があると思う。
- ・ 非常によい措置です
- ・ 必要ない
- ・ 不謹慎な人がいる
- ・ 普段はきにならないので問題ない
- ・ 部屋で煙草をすわないので、臭いがしなくて良い。
- ・ 部屋を締め切って吸って欲しくありません
- ・ 分煙など意味が無い。他者の健康も害している。室外で喫煙するのが当たり前だ。裁判にならない方が可笑的い。
- ・ 分煙なのはいいが、部屋から出てきたときの残り香だけでも相当くさい
- ・ 分煙にコストがかかる。
- ・ 分煙により非喫煙者の人権が確立されている。また喫煙者は喫煙室で色々な情報を入手しているらしい。
- ・ 分煙は実施するべきだと思います。服にもタバコの臭いがつくので、喫煙室にも消臭を施す何かを置いてあげた方が良さそう。でないと、煙の中から禁煙の部屋に入ったときの悪臭がとんでもないですよ～。あんな臭い(口臭も含む)のついたまま、対応しているのかと思うとぞっとします。
- ・ 歩きタバコをする人の後ろから歩いているとむせかえり、咳が出る。部屋の中でも同じで、なるべく近寄らないようにしている。
- ・ 密閉された部屋で、大量に喫煙されると非常に不愉快。特に長時間の会議で大量に喫煙されると、部屋の換気が間に合わない。時間を決めて喫煙等の対処が欲しい。
- ・ 薬局の仕事のためいろいろな患者さんが来るので特に妊婦さんやお子様には悪影響を与えることがあると思うので分煙はすごく環境的にも健康にも大切だと思うし不快な気持ちにならないですむと思う。
- ・ 洋服・髪に煙草の匂いがしみつく
- ・ 廊下に煙の匂いが残っていたが分室になり匂いが気にならない